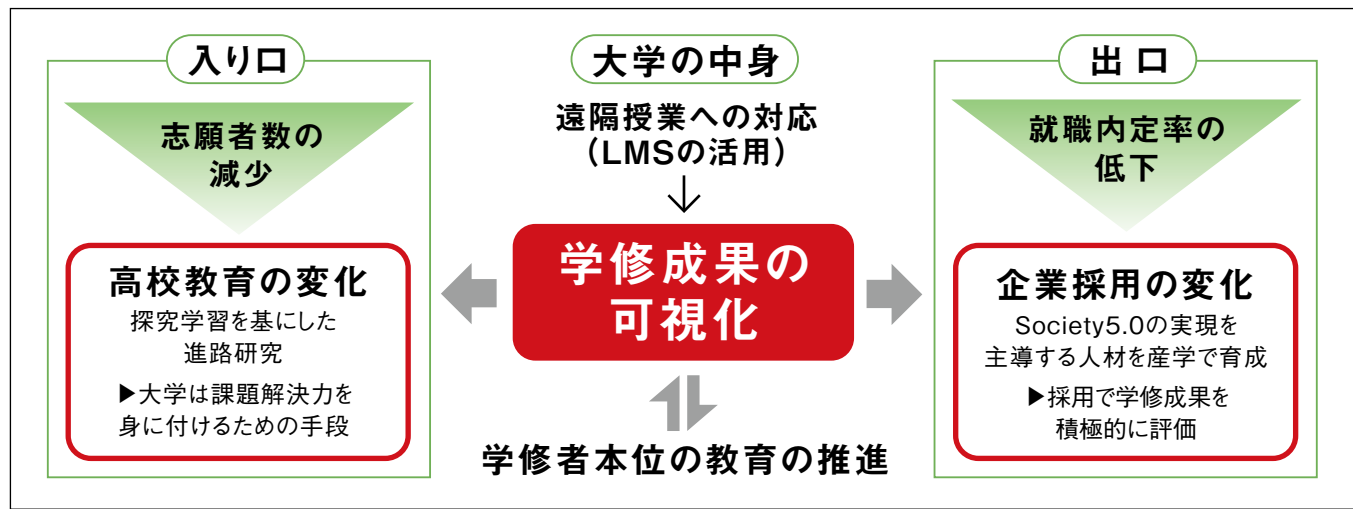


【図表1】学修成果を可視化し、教育・学生募集・就職支援に生かす



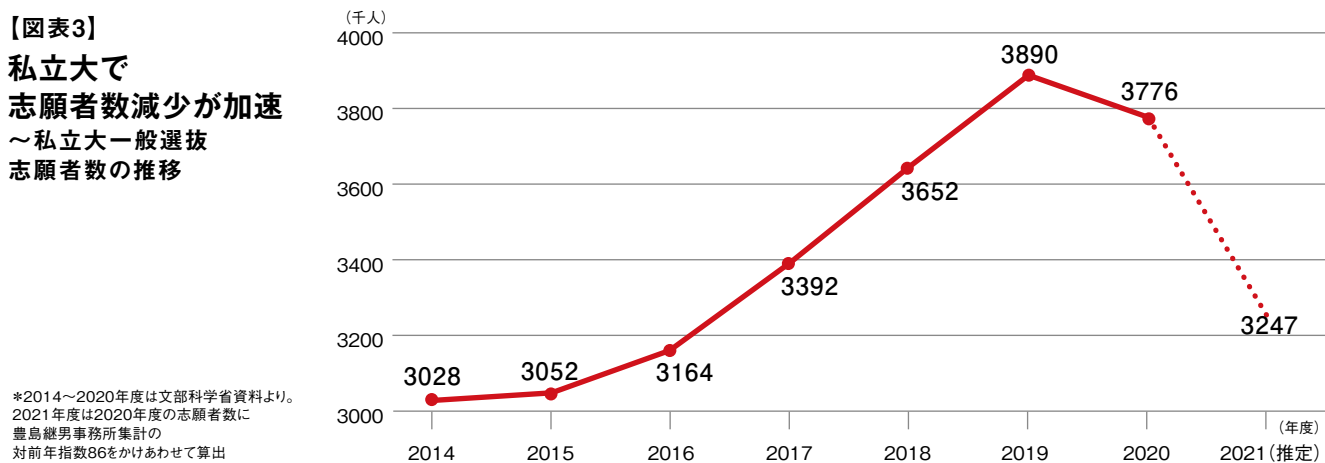
*出口については、採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書「Society5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方」(2020年3月)を参考に作成

【図表2】国公立大ともに、志願者数は減少 ～2021年度入試一般選抜対前年志願者指数

	全国	北海道	東北	関東・甲信越	東京	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州
国公立大学	97	90	92	94	96	100	99	97	100
私立大学	86	84	92	87	87	83	84	88	86

*2020年度入試の志願者数を100とする対前年指数。豊島健男事務所作成資料より。私立大は4月16日集計分まで
関東・甲信越：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野、新潟／東京：東京／東海・北陸：岐阜、静岡、愛知、三重、富山、石川、福井

【図表3】
私立大で
志願者数減少が加速
～私立大一般選抜
志願者数の推移



*2014～2020年度は文部科学省資料より。
2021年度は2020年度の志願者数に
豊島健男事務所集計の
対前年指数86をかけたうえで算出

探究学習の進展により
大学の選び方が変わる

大学の現況を「入り口」(入試)から見ていきたいと思います。2021年度入試では、国公立大とともに、一般選抜の志願者数が減少しました【図表2】。特に私立大は大幅な減少となっています【図表3】。

各エリアの^{*2}高校教員に聞いた受験生の動向をまとめると、早く進学先を決めたい生徒は指定校推薦を利用。総合型選抜や学校推薦型選抜では、部活動の大会などが中止され、アピール材料が不足したことで出願を見送る生徒が少なからずおり、出願者数は例年並みか、それ以下に落ち着いたとのことでした。一方、一般選抜では、新たに導入された大学入学共通テストや新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念、家庭の経済状況の悪化などから、受験生や保護者が積極的に出願校数を増やす心理状態になく、結果的に志願者数減少につながったとの見方です。

今後は、18歳人口が年々減少することから、志願者数減少による競争緩和も続く予想されます。その中で、高校の進路指導はどう変化するのでしょうか。取材した高校教員が口をそろえて話していたのが、「高校教育の変化に対応

*2 主にはP.18～23の高校教員にヒアリングによる

教育力×広報力 ＝募集力へ!

18歳人口の減少にコロナ禍の影響が加わり、今後の学生募集は厳しい展開となることが予想される。生き残るために必要なのは、不確実な社会に適応する人材を育てる確かな教育力と、その教育力をエビデンスと共に学外に伝え、自学ならではのブランドの構築を可能にする広報力だ。

問題提起

学生の成長を可視化し、教育への期待を高める広報を



（株）進研アド Between 編集長
中村浩二

なかもらこうじ●1990年(株)福武書店(現ベネッセコーポレーション)に入社。高校事業部にて高校の教育改革支援に携わった後、(株)進研アド九州支社勤務を経て、2017年より現職。

高校、企業の関心は
何を学び、身に付けたか

志願者数の減少や就職内定率の低下といった厳しい環境の中、今大学が注力すべき課題の一つに「学修成果の可視化」があります。学修者本位の教育を推進する原動力であるのはもちろんのこと、高校も産業界も、大学で学生が「何を学び、身に付けることができたのか」に関心を寄せており、高大社の接続強化に欠かせない要素になりつつあるからです【図表1】。

遠隔授業への対応を通して、^{*1}LMSの活用が広がった今は、そのデータを用いた可視化を全学で進める好機でもあります。

学修成果の可視化を通して学生の主体的な学びを促し、彼らの成長した姿を高校や産業界に伝えて関係性を深め、募集と人材育成を強化する——この循環の構築こそが、大学の「募集力」だと言えます。

*1 Learning Management System(学修管理システム)

【図表6】デジタル活用による教育改革を強力に推進
～デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン採択機関一覧

取り組み	申請	採択	採択率	採択機関 ※太字は、両方の取り組みに採択された機関(9機関)
取組①「学修者本位の教育の実現」 例)学生個人に最適化された教育 (習熟度別学修や履修指導等)を実現	174	44	25%	【国立】北海道大学、北海道教育大学、宇都宮大学、東京大学、東京学芸大学、山梨大学、東海国立大学機構、滋賀医科大学、神戸大学、奈良先端科学技術大学院大学、鳥取大学、岡山大学、広島大学、山口大学、九州大学、九州工業大学、熊本大学 【公立】横浜市立大学、名古屋市立大学、京都府立大学、大阪府立大学 【私立】北海道医療大学、東日本国際大学、獨協医科大学、共愛学園前橋国際大学、神田外語大学、桜美林大学、芝浦工業大学、女子栄養大学、東京女子医科大学、東京理科大学、東洋大学、法政大学、東京医療保健大学、金沢工業大学、名古屋商科大学、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学、追手門学院大学、関西大学、羽衣国際大学、関西国際大学、日本経済大学 【高専】長岡工業高等専門学校
取組②「学びの質の向上」 例)これまで困難と思われていた内容の 遠隔授業を実現	78	10	13%	【国立】北海道大学、東海国立大学機構、神戸大学、広島大学、山口大学、九州大学、熊本大学 【公立】東京都立産業技術大学院大学 【私立】金沢工業大学、関西大学

同 取り組み例

大学名	取り組み名称
共愛学園前橋国際大学	KYOA Career Gate × AIによる個別最適学修の実現～地方小規模大学DXモデルの構築～
芝浦工業大学	“学生の学びの心に火をともし”ラーニングアナリティクスによる教育改革

※文部科学省「『デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン』実施機関の決定について」(2021年3月)を基に編集部にて作成

学の改革案が参考になります【図表6】。同プランは、2020年度の第3次補正予算の中で決定した予算額60億円の事業で、2つの取り組みから構成されています。

取組①「学修者本位の教育の実現」は、LMSに蓄積された学生の学修ログをAIで解析し、個別最適な教育の実現などをめざす取り組みです。取組②「学びの質の向上」は、*5 VR技術を活用した実験・実習など、これまで遠隔授業では困難と思われていた内容に挑戦するものです。LMSのデータを活用すれば、これまで小規模大学の専売特許であったきめ細かな指導を、大規模大学でも充実させることができます。逆に、小規模大学では、オンラインを活用して世界に学びの場を広げ、他大学の学生との協働学修や分野横断型の学びを実現することも可能です。デジタル活用により、教育改革で実現できる選択肢は増えています。

今号で事例を紹介している共愛学園前橋国際大学(P.28)と芝浦工業大学(P.30)は、どちらも取組①に採択されています。両大学とも採択前から学修者本位の教育を推進しており、デジタル活用により、その取り組みをさらに深化させる考えです。

教育力を伝える広報では、自

の教育の全体像を伝えることが重要です。大学は教育改革を「ビジョン(人材像の策定)↓プロセス(教育プログラムの実行)↓エビデンス(学修成果の検証)」の順で進めますが、学外の人はそれを「エビデンス(学修成果への注目)↓プロセス(教育プログラムの理解)↓ビジョン(人材像への共感)」の順で認識する傾向があります。大切なのは、エビデンス、プロセス、ビジョンをバラバラに伝えるのではなく、この3つをつなげたストーリーを語ることです。

高知工科大学(P.32)は、自学のことを知らない人への広報で、エビデンスを効果的に活用することを計画しています。

自学の学修成果を示し期待を高める広報を

大学の「入り口」である学生募集は、18歳人口の減少とともに、今後ますます厳しさを増します。入試や新生活に対する高校生や保護者の「不安」に応えることと併せて、「エビデンス、プロセス、ビジョン」で自学の教育力を語り、その「期待」を高めることが、教育改革が進む中で、学生募集力を高める最も効果的な方法であるはず

*5 Virtual Reality(仮想現実)

【図表5】学修成果を重視する採用へ
～産学協議会10のアクションプラン

Society 5.0の大学教育の実現に向けて
1.【大学・企業】「組織対組織」の中長期的な連携を推進
2.【企業】大学等での学び直し奨励
3.【大学】大学での文理横断教育の充実や、リカレント教育の情報発信
Society 5.0の採用とインターンシップの実現に向けて
4.【大学・企業】インターンシップの再定義
5.【企業】大学の学修や学事日程に配慮した採用、インターンシップの実施
6.【企業】雇用形態の多様化の実態を情報発信。 求めるスキル・資質・能力を明確にし、大学等での学修成果を積極的に評価
7.【大学】教育の質保証を通じて、 学生が身に付けたスキル・資質・能力を明確化
8.【大学】多様な学びを促すための卒業時期の複線化。大学主導の就職支援の強化
地域活性化人材の育成に向けて
9.地域産業界と大学の対話促進
フォローアップに向けて
10.上記アクションプランの推進

※「産学協議会10のアクションプラン」を基に編集部で作成

続いて、「出口」(就職)の状況を見てみましょう。2021年3月卒の大学生の就職内定率は、コロナ禍が影を落とし、前年よりも低下しました【図表4】。急速な回復は考えにくく、厳しい状況が数年は続くと思われます。その中で、出口の支援を強化するには、大学と産業界の関係の変化をふまえる必要があるでしょう。

その象徴が、経団連が大学に働きかけて2019年に立ち上げた

可視化された成果を企業が積極的に評価

して、進路指導で重視する情報も変化する」ということでした。

2022年度の新課程導入を控え、多くの高校で今、探究学習の取り組みが進んでいます。社会に対して自分なりの問いを立てて解決策を探るといった、探究学習で得た経験は、生徒が自分の将来を考える際の軸になるものです。これからは、社会課題の解決を将来の目標に据え、その力を身に付ける手段として大学を選ぶ高校生が増えると考えられます。先輩たちが大学で「何を学び、身に付けることができたのか」は、高校生にとって志望校選びの貴重な情報になるはず

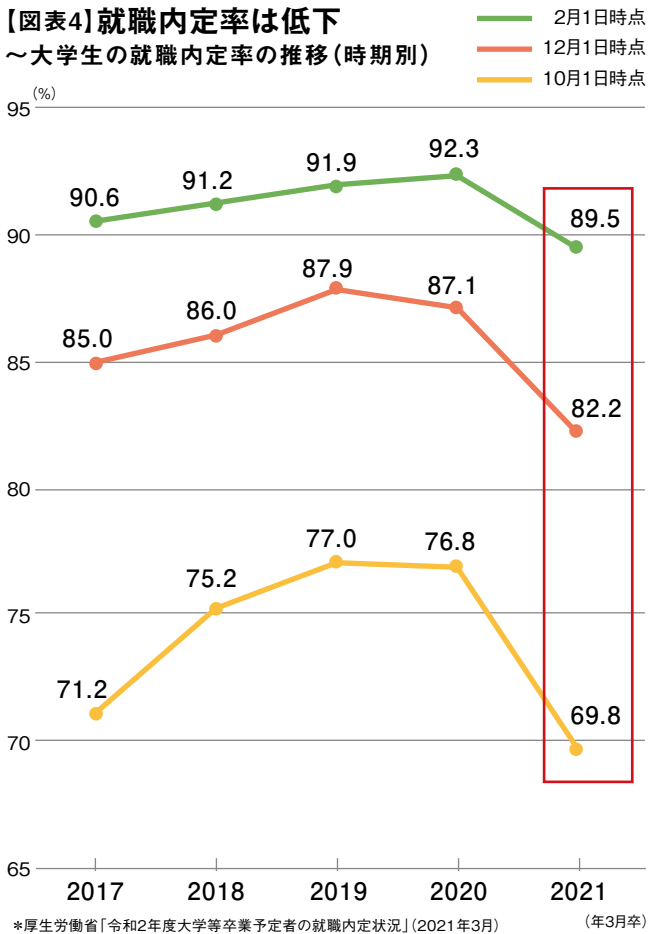
新たな領域に挑戦し、社会に付加価値をもたらす人材の育成は、産学共通の願いのはずです。大学が学生の成長ぶりを産業界に示すことで、両者の人材育成での連携がさらに深まると考えられます。

教育改革の全体像をストーリーとして発信

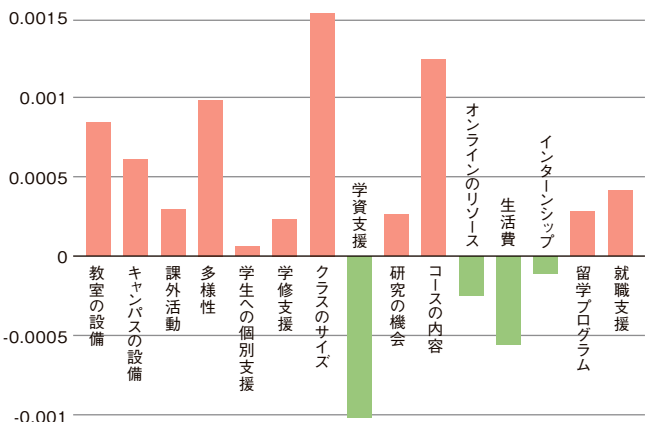
高校や産業界との関係を深めるには、前提となる大学での教育改革や広報の強化が欠かせません。教育改革では、文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択された各大

*3 正式名称は「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」。経団連と国公私立大学の代表者で構成される

*4 採用と大学教育の未来に関する産学協議会 2020年度報告書「ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携の推進」(2021年4月)

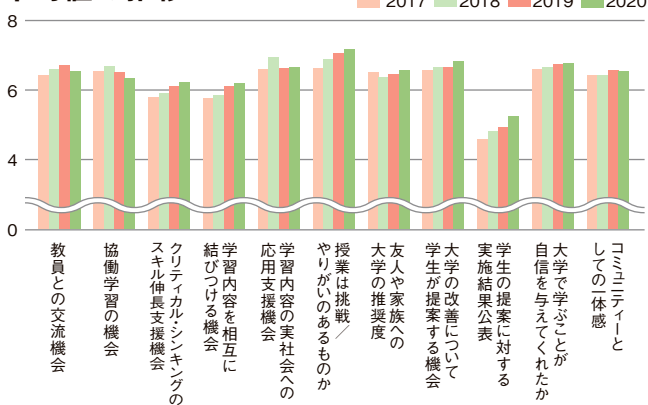


【図表2】学生生活全般に対する満足度（項目別）

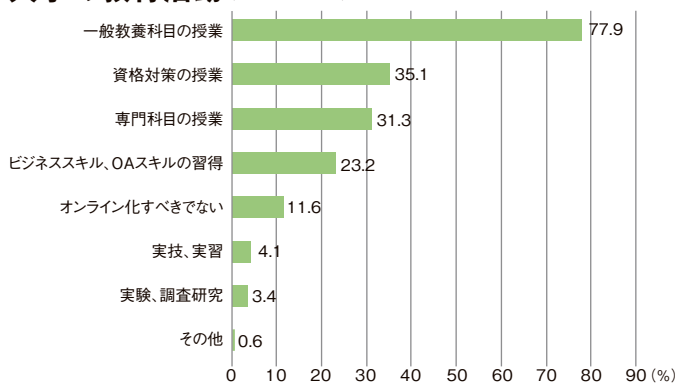


＊【図表1・2】 THEが実施した学生調査（2020年）を基に作成

【図表1】学生調査の質問項目に対する回答の平均値の推移（過去4年）

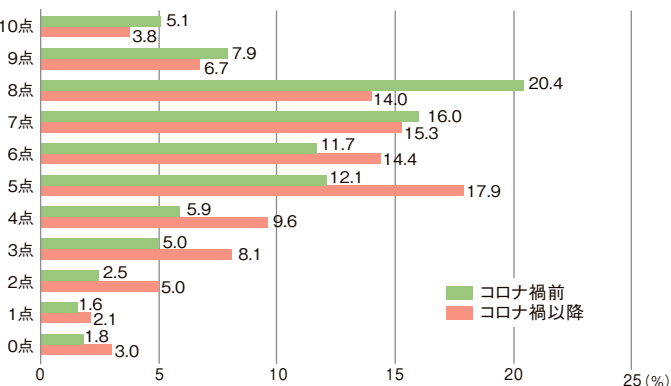


【図表4】オンライン化してもよいと思う大学の教育活動（複数回答）



＊【図表3・4】 「オンライン授業に関するアンケート」（ベネッセコーポレーション／2021年3月実施。n=2060）

【図表3】授業に対する満足度の比較（コロナ禍前後の授業を10点満点で評価）



＊その他、「まだ入学していない」203人

【図表5】エビデンスに基づいた教育改革と情報提供に活用 ～イギリスの全国学生教育満足度調査の概要

目的	調査対象と項目	活用例
学位プログラムに対する質保証 ①受験生の進路選択への情報提供 ②学生の視点での大学改革のための情報提供 ③社会の公器としての説明責任	最終学年の学生を対象に、 専攻コースの教授指導／学習の機会／ 評価とフィードバック／学習支援／コース の運営／学習リソース／学習環境／学 生の声／総合的な満足度 など	学生のモチベーションを高める要因を探る (モチベーション要因、環境要因は何か?) ↓ エビデンスに基づいた学生の学修 経験改善を目的とした施策の立案

＊大学改革カンファレンス2021におけるTHEの発表内容を基に編集部で作成

要な機器がシラバスに明記されておらず、予定外の出費があった」など、ハード面での不満も出ている。ハード面の配慮に加え、学生に「大学で学んでいる実感」を与えられるような、授業の内容、進め方、課題の出し方を工夫する必要があるだろう。

【図表4】には「オンライン化してもよいと思う大学の教育活動」について聞いた結果をまとめた。今後の授業設計の参考にしていただきたい。

教育改革を後押しするイギリスの学生調査

今後、新たな教育モデルの構築を検討するにあたっては、学生調査データの活用が重要になることは間違いない。イギリスでは、政府機関が主導して2005年から全国学生教育満足度調査を実施している。主な目的は「受験生の進学先選びのための情報提供」「学生の視点に立った大学改革のための情報提供」「社会に対する説明責任」だ。大学はこのデータを活用し、「学生が学ぶプロセス、モチベーションにおいてポジティブに作用する要因、ネガティブに作用する要因」を分析し、教育改革に生かしている【図表5】。



コロナ前後の学生満足度の変化は？
「THE」「学生調査」経年比較から見た日本の教育の課題

学修者本位の教育への転換と大学の課題

イギリスの Times Higher Education（以下THE）は、コロナ禍が高等教育の将来にとって何を意味するのか、各種調査から分析している。世界中の大学執行部対象に行った「リーダーズ調査」結果からは、今後は、「学生がより力を持つようになる」と予測する。なぜならコロナ禍はオンライン教育の普及を加速させ、大学が主に3つの課題に直面するからだ。まず、自分のペースで好きな場所ですぶスタイルが常態化することによる、「プログラムのカスタマイズ化」。次に学費は「受ける教育そのものの対価なのか、教育環境への対価なのか」という学生や保護者に対する「学費についての説明責任」、そして、コロナ禍による価値観の転換や極端な不平等などが明らかになったことから、社会が期待する方向に「教育内容の見直し」も求められるという。これらは、大学のブランドにも大きく影響を及ぼすだろう。

「学生がより力を持つ」時代において、日本の大学の教育は彼らにどう評価されているのか。同社は2017年から毎年、日本の学生向けに、所属大学の教育力を問う調査を行っている。「教員・学生の交流、協働学習の機会」「授業・指導の充実度」「大学の推奨度」など16の設問で構成され、一部の設問への回答はTHE日本版ランキングの「教育充実度」に反映されている（P.14参照）。

【図表1】は、この4年間の回答結果の推移をまとめたものだ。「クリティカル・シンキングのスキル伸長支援機会」や「学習内容を相互に結びつける機会」は、4年間一貫してスコアが上昇している。「学生の提案に対する実施結果公表」度合いも同じく向上が見られた。一方で、「協働学習の機会」が下がっている点は懸念すべきだ。コロナ禍による行動制限がまだ続く中、以前のような形での協働学習の実施はまだ難しいが、新たな方法を模索する必要があるだろう。

大学生活全般に対する満足度は

どうか。【図表2】は「コースの内容」「就職支援」「留学プログラム」など、15の要素について、学生が「満足している点（+）」「満足していない点（-）」を総合してグラフにしたものだ。「クラスのサイズ」「コースの内容」は学生の満足度が高い一方で、「学資支援」「生活費」については、満足度が低い。さらに気がかりなのは「オンラインのリソース」に学生が不満を抱いている点だ。

この傾向は、別の調査からも明らかになっている。【図表3】はベネッセが行ったオンライン授業に対する学生調査の結果だ。コロナ禍前の授業に対する満足度と比較して、コロナ禍後は全体的に満足度が低い。自由記述回答を見ると、「オンラインのほうが集中可以る」「時間が有効に使える」という好意的な声がある一方で、「資料を読むだけ、講義を聞くだけで、学んでいる実感が得られない」「課題ばかりで自主学習をしているよう」という否定的な声も多かった。また、「オンライン授業で使用するアプリが統一されていない」必

文科省に聞く！

大学で学ぶ学生の声を大切にしたい

——国が全国規模の調査を実施する理由は？

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」で示された“学修者本位の教育への転換”が背景にあります。全国の学生の意識、実態を把握、公表することで、各大学に教育改善を促すことが大きな目的です。同時に、大学がいまだに偏差値偏重の尺度で社会から判断されていることへの問題意識もあります。社会の意識を変えるには、各大学における学生の学修成果、大学全体の教育成果に関心を持ってもらうことが欠かせません。また、高校生が偏差値だけで大学を判断し、各大学の特徴に目を向けていなければ、入学後の成長は見込めず、“学修者本位の教育”の実現は難しいでしょう。その意味でも、国が共通の質問項目で全国的な調査を行い、結果をわかりやすい形で社会に広く発信することが必要だと言えるでしょう。

一部ではこれが新たな序列化につながるのではという懸念の声もありますが、むしろ単一の指標で大学の教育力を表すことが困難な中、大学はさまざまな視点で情報を発信していくことが重要です。各大学には、それぞれにミッションがあるはずですから、必ずしもレーダーチャートで正五角形になることはないのではないのでしょうか。その凹凸こそ教育の特色として示し、その高低の理由と共に発信していただきたい。そのため、次回調査では全国学生調査の自学のデータを学外に公表することも可能にする予定です。

静岡県の大学・教育機関で構成する「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」では、調査に参加した4大学の合計値、平均値を集計し、全国の中小規模私立大学の数値と比較するなどして、地域の大学の課題の把握に活用しています。こうした取り組みがさらに増えることを期待しています。

第1回、2回の実施概要まとめ

	1回目	2回目(予定) *赤字は変更点
目的	①各大学の教育改善 ②社会への情報公表 ③国の基礎資料	①②③に加え、④調査を通じて学生一人ひとりが学びを振り返り今後の学修や大学生生活をより充実したものに
調査対象	参加意向のあった4年制大学の3年生	参加意向のあった4年制大学の2年生、および最終学年短大の最終学年
実施方法・時期	匿名によるWeb調査/11月	匿名によるWeb調査/11月
質問項目	選択式36問と自由記述2問	選択式50問程度と自由記述2問程度
公表方法	全体・設置者・学部規模・学部分野別集計とクロス集計結果のみ	全体・設置者・学部規模・学部分野別集計とクロス集計結果のみ
自学の結果取扱	学内での活用にとどめる	学内での活用のほか、自主的な公表を可能にする

高等教育局 高等教育企画課
高等教育政策室
課長補佐 *取材当時

奥井雅博

おくいまさひろ●1999年国立大学に入職後、2002年から文部科学省へ。主に高等教育行政に従事。2019年に高等教育企画課で中教審や全国学生調査を担当。2021年から専門教育課課長補佐。



調査への回答そのものが教育機会に

——第2回試行実施の変更点は？

「学生が調査を通じて、学生生活をより充実したものとする」ことを目的に加えました。この調査を、学生の有効な振り返りの機会にしてほしいと考え、質問項目にも「答えのない問題を考えて抜き力」や「デザイン力」など、大学時代に身に付けるべき力をキーワードとして意図的に入れ込んでいます。また、第1回試行実施の自由記述欄で寄せられた学生の声も反映させており、大学教育に対する学生自身の「気付き」を促す学生調査を通して、“学生参加型”の質保証をめざしていきます。

また、前回は3年生を対象としましたが、教育成果を把握するなら最終学年で実施すべきだという指摘があり、第2回は2年生と4年生に変更する予定です。質問項目は10分以内に回答できる数を考慮して、50問に増やす予定です。コロナ禍を受けて学生の状況がどう変化したのかを把握するための質問も検討中です。

第1回の回答率は3割程度で、これをいかに上げていくかが課題です。調査の目的を学生に理解してもらうことが必要でしょう。率直な意見を吸い上げるためにも匿名性は維持していきます。また第1回目に関するメディアの取り上げ方が学修時間のことに終始したことから、社会への発信のしかたも検討事項です。第2回の終了後は、第3回試行実施を予定しており、その結果を基に本格実施への移行を進める予定です。今後さらに多くの学生に参加してもらえる調査にしていきたいです。

【図表9】第2回試行実施の質問項目案(抜粋)

*赤字は修正、新規項目

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどれくらいありましたか。

1. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。
2. 授業内容やその分野を学びたいという意欲がわく内容だった。【新規】
3. 理解しやすいように教え方が工夫されていた。
4. 予習・復習など自主学習について授業やシラバスで指示があった。【新規】
5. 教員以外の者(アシスタントなど)が配置されており、補助的な指導があった。
6. 小テストやレポートなどの課題が出された。※期末テストは除く
7. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された。【修正】
8. グループワークやディスカッションの機会があった。
9. 教員から意見を求められるなど、質疑応答の機会があった。
10. 主に英語で行われる授業(語学科目は除く)があった。

問2 大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。

11. 大学での勉強の方法(スタディスキル)を学ぶ科目
12. 研究室やゼミでの少人数教育
13. (授業時間以外で)教員に質問や勉強の仕方を相談する機会【修正】
14. (授業時間以外で)他の学生と一緒に学習する機会【新規】
15. キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング(就職や進学相談)
16. インターンシップ(5日以上に限る)
17. 海外留学・海外研修(3か月以上)【修正】 18. 海外留学・海外研修(3か月未満)【新規】
19. (学内で)自分とは異なる文化圏の学生との交流
20. 図書館やアクティブ・ラーニングスペースなど大学施設を活用した学習

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力が身に付いたと思いますか。

21. 専門分野に関する知識・理解
22. 将来の仕事に関連する知識・技能
23. 文献・資料を収集・分析する力【修正】
24. 論理的に文章を書く力
25. 人にわかりやすく話す力
26. 外国語を使う力
27. 統計などデータサイエンスの知識・技能【修正】
28. 問題を見つけて解決方法を考える力
29. 答えのない問題を自分の頭で考え抜く力【新規】
30. 多様な人々の理解を得ながら協働する力【修正】
31. 幅広い知識、ものの見方 32. 異なる文化に関する知識・理解

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。【新規】

33. 具体的な目標・目的をもって主体的に学んでいる。
34. 大学が卒業までに学生へ求める力(※)を理解している。
※ディプロマ・ポリシーに示された知識・能力
35. 授業アンケート等の回答を通じて大学教育がよくなっている。
36. 教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。
37. 大学での学びによって自分自身の成長を実感している。
38. 知識やスキルを組み合わせて一つのものをつくり出す力(デザイン力)が必要だと感じている。
39. 卒業後に社会で活躍(貢献)する具体的なイメージを持つことができている。
- (または)大学教育を通じて社会に対する理解が深まっている。
40. 卒業後も主体的に学び続けていくことの大切さを感じている。

※その他授業期間中の生活時間、コロナ禍をふまえた質問事項の追加も検討中

「学修者本位の教育への転換」度を測る「文部科学省「全国学生調査」の行方」

イギリス同様、日本でも、文部科学省が学生の学びの実態把握に向け、動き始めている。2019年11月に行った「全国学生調査」試行実施では、希望した515大学の3年生約41万人が対象になり、約11万人が回答した【図表6】。質問項目は全36問(うち自由記述2問)で、主な内容は、大学の授業や学習状況、学生の生活時間など。授業外学習の時間やアルバイト時間を聞く質問のほか、「専門分野に関する知識・理解」や「外国語を使う力」を身に付けるにあたって大学教育が役に立っているか、などを項目別に4段階で評価する設問があった。

本調査は学生からはおおむね好意的に受け止められたが、「抽象的な質問が多い」「一部の質問の聞き方が回答しにくい」など、改善を求める声も少なくなかった【図表7】。また、回答率の低さ(約3割)は課題だ。

そもそもこの調査は「学修者本

位の教育への転換」を念頭に置いたものだ。そのため、調査結果は文科省のWebページ等で公表されるだけでなく、各大学が教育改善に生かせるよう、参加大学には自学の学生のデータが共有されている。【図表8】は、文科省が参加大学に対してデータの活用予定を聞いた結果だが、最も多い「教務委員会等の各種委員会」でさえ38%にとどまっている。*「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」のように、積極的な活用や情報発信が望まれる。【図表9】は、本年11月実施予定の第2回試行実施の項目案だ。これらを国が求める「学修者本位の教育」の具体像と捉え、自学の到達度を測る調査としても活用できるだろう。

全国学生調査や大学の独自調査、各種ランキングの分析によって明らかにした自学の教育の特徴は、教育改善に活用するほか、学生募集につなげることも可能だ。そのために全学的に調査の分析活用をどう進めていくか、全体的な設計を検討していく必要があるだろう。

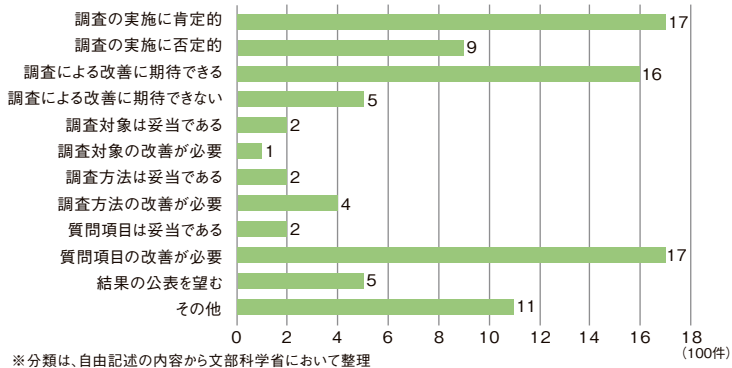
* 静岡県の公益社団法人。県内4大学のデータを使用し、共同IRで県内大学の特徴と課題を探った

【図表6】「全国学生調査(試行実施)」全体の回答状況

対象大学	対象大学数	対象学部数	対象学生数	有効回答者数	有効回答率
全体	515大学	1,689学部	407,014人	111,051人	27.3%
集計基準※ 合致	420大学 (81.6%)	1,103学部 (65.3%)	274,428人 (67.4%)	102,104人 (91.9%)	37.2%

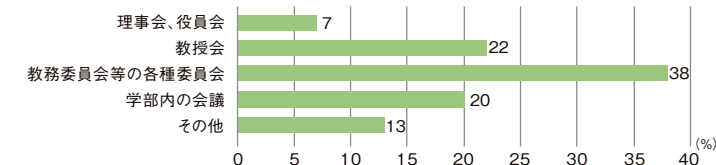
※学部単位で「有効回答者数が30以上かつ有効回答率が10%以上」または「有効回答率が50%以上」を集計基準として設定

【図表7】調査に対する学生の意見



※分類は、自由記述の内容から文部科学省において整理

【図表8】調査結果の活用を予定する場(複数回答)

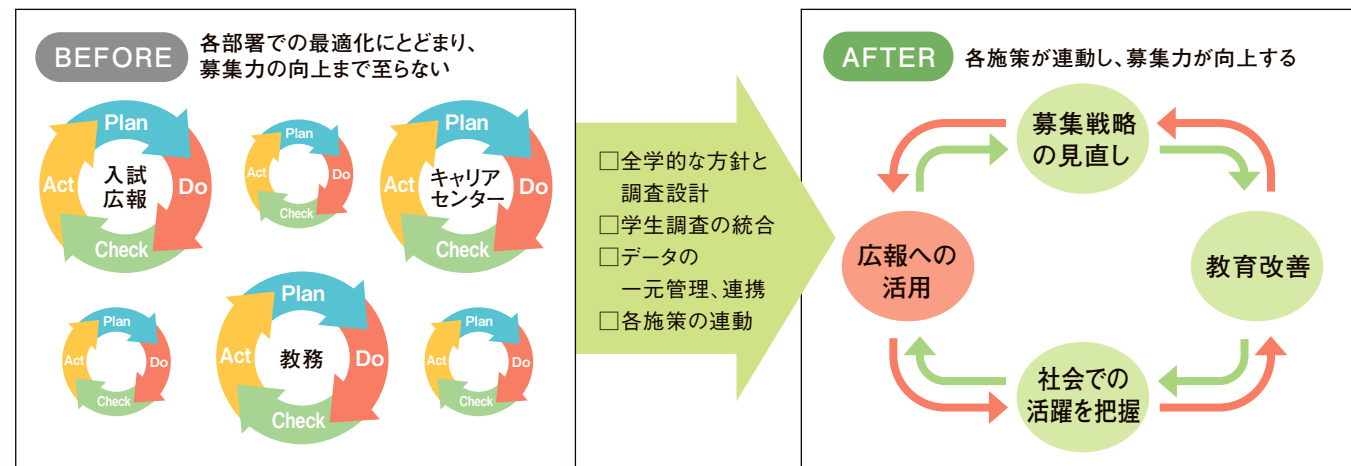


*【図表6～9】文部科学省資料を基に、編集部にて作成

「学修者本位の教育への転換」度を測る「文部科学省「全国学生調査」の行方

教育改善と学生募集への活用

【図表2】学生調査の全体最適化



【図表3】大学で実施する調査と教育力を証明するエビデンス

時期	入学時	在学時	卒業後
検証対象	学生	学生	卒業生・就職先企業や団体
データ	☐ 高校の成績、活動状況 ☐ 志望理由書 ☐ 入試成績 ☐ 入学時調査 ☐ 外部英語検定試験 …など	☐ 成績、活動状況 ☐ 単位取得状況 ☐ 汎用的能力アセスメント ☐ 学生調査 ☐ 授業評価 …など	☐ 国家資格取得試験 ☐ 外部英語検定資格 ☐ 汎用的能力アセスメント ☐ 卒業後の卒業生向け調査 (大学の学習経験の社会での役立ち度合い) ☐ 就職先からの卒業生の評価 …など

は、回答結果がどう生かされたか、学生にフィードバックをすることです。自分の関与によって大学がよくなった実感があれば、今後の調査協力率向上にもつながりますし、学内の協力体制もつくりやすくなります。大学改善のゴールとKPIを提示し、調査結果を基に今どこまで改善されたのかを示すのも一つの方法です。これらは全学的な統括部署がコントロールするといでしょう。

さて、学生調査の目的として主流なのは、「教育改善への活用」や「学生の実態把握」ですが、私は学生募集への活用の可能性の大きさに注目しています。

社会の変化やコロナ禍による大学生生活への制限が続く中、高校生や保護者の学費に対する成果、つまり「その大学ならではの学びや経験でどんな成長が望めるか」「社会に出るまでに、どんな成長が望めるか」ということへの関心が高まっています。したがってこれからの募集広報は、自学の教育での成長を具体的にイメージしやすい形で発信し、「教育力」をアピールすることが求められます。

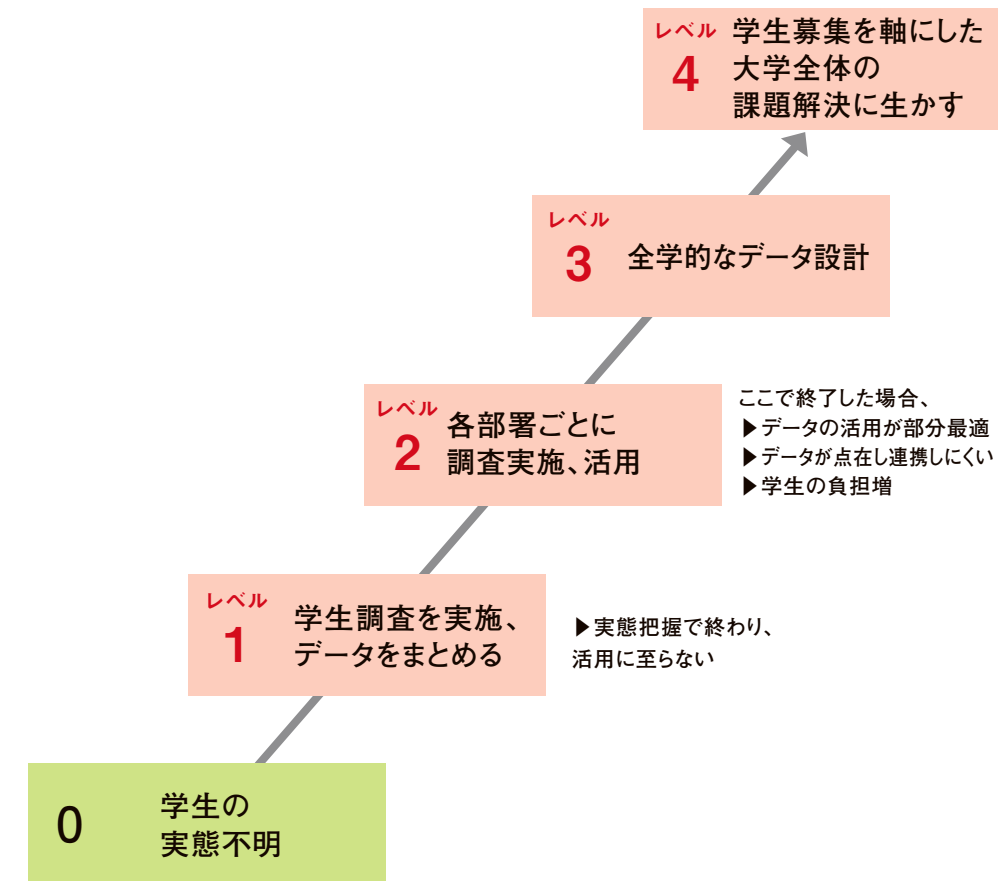
実態が捉えにくい「教育力」をわかりやすく、かつ説得力を持って伝えるためのポイントは2つあります。一つは学生調査結果を、「その大学に行けば、どのような力が、どのような教育方法によって身に付くのか」というエビデンスとして活用することです。これにより高校生は入学後の自分をイメージしやすくなります。

2つ目のポイントは、「卒業後の姿」も教育力と捉え、併せて伝えることです。「大学での学びが社会で役に立っているか」は、近年各ステークホルダーから注目されており、募集広報においても、必ず伝えたい要素と言えます。これについては卒業生調査やその就職先への調査で検証が可能です。

【図表3】は、大学の各部署でよく実施されている各種調査を時期別にまとめたものです。参考になさってください。

教育力の広報は、長期スパンで見たブランディングという観点ではもちろん、目の前の学生募集においても最も訴求すべき要素というフェーズに、すでに入っています。広報に使える調査結果は、すでに学内にあるかもしれません。ぜひ部署間の連携を高めて、自学独自の「教育力」の発信に取り組んでみませんか。

【図表1】レベル別学生調査の活用度



調査の実施が進む一方で、結果の活用は限定的

近年、教育改善への活用や社会への説明責任を果たすために、多くの大学で学生調査が実施されています。特に前年は遠隔授業に対する満足度や、コロナ下での学生の状況の把握調査などが多く実施されたようです。

調査が増える一方で、取得したデータが学内で十分に共有されていないという話も聞きます。各部署が抱える問題解決に注力するあまり、データの活用が限定的になっているのではないのでしょうか。私は、これからの学生調査は、部署を越えた「全体最適」を前提とした設計と、課題解決への活用へとレベルを上げる時期に来ていると考えます【図表1】。

そのためにはまず、データを活用してどんな課題を解決するか、全学的な方針を決めることです。

そのうえで方針を基に活動する全学的な組織を設置し、権限を移譲します。全体最適のためには、全体を客観的に見る立場をつくる必要があるからです。

「調査結果が各部署に点在している」「部署ごとの調査の質問内容が重複している」「データの形式がバラバラで、連携して分析できない」……etc. これらは大学からよく聞く悩みです。全体を統括する組織があれば、各種調査の統合が図られ、情報の一元管理や連携が容易になるはずです。バラバラに進められていた各施策が連動し、募集力も高まるでしょう【図表2】。

なお、調査の回数が多いと、学生の「調査疲れ」が懸念されます。それを防ぐポイントは2つあります。まずは、調査目的をシンプルにすること。これにより、必要最低限の調査内容や回数に絞られ、回答者の負担が減ります。2つ目

How to

部分最適から全体最適へ

学生調査を学生募集につなげるには



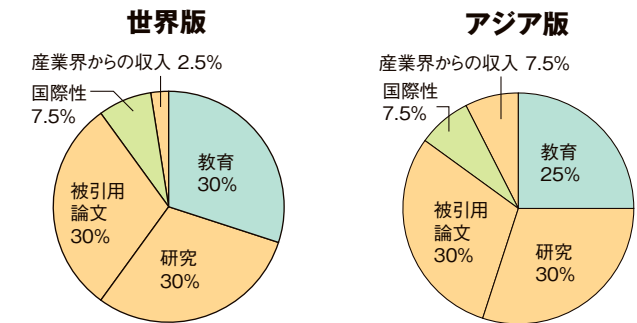
(株)進研アド
マーケティングリサーチ部部長
嶋はる美
しまはるみ●(株)進研アド入社以来、マーケティングリサーチ関連部署にて調査・データ分析を担当。マーケティングリサーチを通じた高等教育機関の課題抽出・解決支援に携わる。

取材・文／本間学 撮影／亀井宏昭

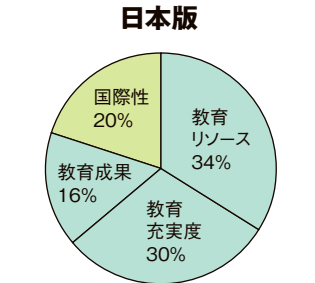
【図表1】ランキングごとに異なる大学の顔ぶれ～THEの各ランキングにランクインした日本の大学例

世界版2021			アジア版2020			インパクトランキング2021			日本版2021		
順位	区分	教育機関	順位	区分	教育機関	順位	区分	教育機関	順位	区分	教育機関
=36	国	東京大学	7	国	東京大学	101-200	国	広島大学	1	国	東北大学
=54	国	京都大学	12	国	京都大学	101-200	国	北海道大学	2	国	東京工業大学
201-250	国	東北大学	30	国	東北大学	101-200	国	京都大学	3	国	東京大学
301-350	国	東京工業大学	41	国	名古屋大学	101-200	国	岡山大学	4	国	京都大学
351-400	国	名古屋大学	42	国	東京工業大学	101-200	国	東北大学	5	国	大阪大学
351-400	私	産業医科大学	=55	国	大阪大学	101-200	国	東京大学	6	国	北海道大学
351-400	国	大阪大学	57	私	産業医科大学	101-200	国	筑波大学	7	国	名古屋大学
401-500	国	九州大学	62	国	東京医科大学	201-300	私	慶應義塾大学	8	国	九州大学
401-500	国	東京医科大学	71	国	九州大学	201-300	国	名古屋大学	9	国	筑波大学
401-500	私	筑波大学	82	私	藤田医科大学	201-300	国	大阪大学	10	国	広島大学
501-600	私	藤田医科大学	=93	私	帝京大学	201-300	私	立命館大学	11	私	国際基督教大学
501-600	国	北海道大学	=93	国	筑波大学	301-400	国	神戸大学	12	私	慶應義塾大学
501-600	私	帝京大学	95	公	横浜市立大学	301-400	国	三重大学	13	私	早稲田大学
601-800	公	会津大学	96	国	北海道大学	301-400	国	信州大学	14	公	国際教養大学
601-800	私	東京慈恵会医科大学	128	私	関西医科大学	301-400	国	徳島大学	15	国	神戸大学
601-800	私	関西医科大学	=146	公	東京都立大学	301-400	私	東京理科大学	16	国	一橋大学
601-800	私	慶應義塾大学	164	私	慶應義塾大学	401-600	国	千葉大学	17	国	東京医科大学
601-800	国	神戸大学	=172	私	近畿大学	401-600	国	愛媛大学	=18	国	金沢大学
601-800	私	日本医科大学	=175	国	神戸大学	401-600	国	茨城大学	=18	私	上智大学
601-800	公	横浜市立大学	=177	国	広島大学	401-600	国	金沢大学	=20	国	千葉大学
801-1000	国	千葉大学	=182	私	日本医科大学	401-600	国	熊本大学	=20	国	東京農工大学
801-1000	国	広島大学	=187	公	東京慈恵会医科大学	401-600	公	名古屋大学	22	私	立命館アジア太平洋大学
801-1000	私	兵庫医科大学	=190	公	会津大学	401-600	私	新潟大学	23	国	岡山大学
801-1000	私	順天堂大学	=192	私	久留米大学	401-600	公	大阪府立大学	24	公	会津大学
801-1000	私	近畿大学	=198	国	千葉大学	401-600	私	龍谷大学	=25	国	長岡技術科学大学
801-1000	私	久留米大学	=198	私	兵庫医科大学	401-600	私	帝京大学	=25	国	お茶の水女子大学
801-1000	公	京都府立医科大学	201-250	私	順天堂大学	401-600	私	東京農業大学	27	国	横浜国立大学
801-1000	国	新潟大学	201-250	公	京都府立医科大学	401-600	国	鳥取大学	28	国	東京外国語大学
801-1000	国	岡山大学	201-250	国	新潟大学	401-600	私	東洋大学	29	国	東京海洋大学
801-1000	私	立教大学	201-250	国	岡山大学	401-600	私	早稲田大学	=30	私	立命館大学
801-1000	私	東京医科大学	201-250	私	立教大学	401-600	国	山口大学	=30	私	芝浦工業大学
801-1000	公	東京都立大学	201-250	公	札幌医科大学	401-600	公	横浜市立大学	32	私	東京理科大学
801-1000	私	早稲田大学	201-250	私	早稲田大学	601-800	国	秋田大学	=33	私	熊本大学
			251-300	私	愛知医科大学	601-800	私	中部大学	=33	国	長崎大学
			251-300	国	浜松医科大学	601-800	私	中央大学	35	国	京都工芸繊維大学
			251-300	国	金沢大学	601-800	国	群馬大学	36	国	豊橋技術科学大学
			251-300	国	熊本大学	601-800	国	香川大学	37	国	九州工業大学
			251-300	国	九州工業大学	601-800	私	神奈川大学	38	国	電気通信大学
			251-300	国	室蘭工業大学	601-800	公	北九州市立大学	=39	私	明治大学
			251-300	公	名古屋市立大学	601-800	私	関西学院大学	=39	公	横浜市立大学
			251-300	公	大阪市立大学	601-800	公	大阪市立大学	41	私	神戸外語大学
			251-300	私	聖マリアンナ医科大学	601-800	国	琉球大学	42	公	東京都立大学
			251-300	国	徳島大学	601-800	私	上智大学	43	私	同志社大学
			251-300	国	東京農工大学	601-800	私	東海大学	44	私	立教大学
			251-300	私	東京医科大学	601-800	私	東京都市大学	45	私	豊田工業大学
			251-300	私	東京理科大学	601-800	国	富山大学	46	国	秋田大学
						601-800	国	宇都宮大学	47	私	学習院大学
						801-1000	私	国際基督教大学	48	私	関西学院大学
						801-1000	私	恵泉女子学園大学	49	公	福岡女子大学
						801-1000	私	工学院大学	50	私	中央大学
						801-1000	私	武蔵野大学	51	国	新潟大学
						801-1000	公	県立広島大学	52	私	青山学院大学
						801-1000	私	立命館アジア太平洋大学	53	公	大阪市立大学
						801-1000	私	成蹊大学	54	国	信州大学
						801-1000	私	芝浦工業大学	55	公	神戸市外国語大学
						801-1000	国	島根大学	56	国	名古屋工業大学
						801-1000	私	創価大学	57	国	福井大学
						801-1000	国	横浜国立大学	58	私	津田塾大学
						1001+	私	足利大学	59	国	山口大学
						1001+	私	千葉工業大学	=60	公	大阪府立大学
						1001+	私	中京大学	=60	私	聖路加国際大学
						1001+	公	福岡女子大学	=62	私	関西外国語大学
						1001+	私	羽衣国際大学	=62	私	宇都宮大学
						1001+	私	白鷗大学	64	私	南山大学
						1001+	私	日本経済大学	65	私	法政大学
						1001+	私	桜美林大学	66	国	岐阜大学
						1001+	私	関西大学	67	国	鳥取大学
						1001+	私	関西医科大学	68	私	創価大学
						1001+	私	関東学院大学	=69	私	近畿大学
						1001+	私	京都産業大学	=69	国	山形大学
						1001+	私	武庫川女子大学	=71	国	帯広畜産大学
						1001+	私	麗澤大学	=71	国	埼玉大学
						1001+	公	公立諏訪東京理科大学			
						1001+	私	多摩大学			
						1001+	私	東北学院大学			

各ランキングの指標分野



SDG 1	SDG 10
貧困	不平等
SDG 2	SDG 11
飢餓	都市
SDG 3	SDG 12
保健	生産・消費
SDG 4	SDG 13
教育	気候変動
SDG 5	SDG 14
ジェンダー	海洋資源
SDG 6	SDG 15
水・衛生	陸上資源
SDG 7	SDG 16
エネルギー	平和
SDG 8	SDG 17
成長・雇用	実施手段
SDG 9	イノベーション



教育力の客観的エビデンス
THE
日本大学ランキング
結果報告

各大学の教育力が反映されたスコアに注目

今回で5回目の発表を迎えたTimes Higher Education (THE) 世界大学ランキング日本版(以下、日本版)。ランキング対象となったのは前年と同様278校(国立67、公立44、私立167)だった。ランキング結果を広報に活用する大学も年々増えており、ランキング発表直後から、自学の最新順位やスコアをWebサイト等で発表する大学が多数見られた。

THEはいくつもの大学ランキングを発表しているが【図表1】、「研究力」に重きを置いた「THE世界大学ランキング」や「THEアジア大学ランキング」、SDGsへの取り組みを見る「インパクトランキング」と比べ、日本版では「教育力」が重視されている。そのため、自学の教育力における強みと課題を把握するデータとして有効だ。

最新の日本版の結果を見てみよう【図表1】。TOP10は全て国立大学で、1位は前年に続き東北

大学が維持した。同大学はランキングの指標となる各分野のスコアがバランスよく高い。

東京工業大学は、学生や高校教員の声を反映した「教育充実度」のスコアを向上させ、前年から順位を上げて2位に。「教育充実度」「国際性」のスコアを上げた大阪大学は前年8位↓5位に上昇。広島大学は、「教育充実度」「教育成果」という、学生や社会からの評価に基づく項目のスコアを向上させ、初めてTOP10入りしている。11位は国際基督教大学。「国際性」のスコアを高いレベルで維持し続けている。実は、今回順位が10位以上アップした大学の大半は、この「国際性」のスコア上昇によるもの。東京医科大学(29位タイ↓17位)、長崎大学(43位↓33位タイ)、中央大学(60位↓50位)、青山学院大学(72位タイ↓52位)、京都外国語大学(101→1110位↓73位)などがそれにあたる。

コロナ禍で海外渡航が困難な状況ではあるものの、日本にとって課題である「国際性」の向上に取

り組むことは、教育力向上には欠かせない。

ランキング結果の分析を改革のサイクルに組み込む

日本版に限らず、各種ランキングに参加する本来の利点は、「改革を促進するための客観データとして活用すること」にある。そのため有効なのは、ランキングマネジメントサイクル、つまり「エントリ」を基点に、「結果を分析し、自学の強みと課題を把握」「戦略の立案」「実行」「総括」というPDCAを回すことだ。このサイクルを繰り返し、改革を推進することで、自学の教育力、研究力の向上が期待できる。結果的に、在学生や高校教員、産業界からの評判にもつながっていく。

いまだ終息しないコロナ禍の中、多くの大学は自学の存在価値を高めるための新たな方策を模索している。ランキング結果に示された客観的なデータは、今後の戦略を検討するうえで、大きなヒントになるだろう。

可視化された教育力を改革にどう生かすか

【図表3】分野別ランキングTOP20

教育リソース

2021順位	2020順位	区分	教育機関	2021スコア	2020スコア
1	2	国	東京医科歯科大学	80.3	84.2
2	6	私	兵庫医科大学	80.0	81.2
3	5	公	京都府立医科大学	79.6	82.8
4	1	国	東京大学	79.1	86.5
5	3	国	東北大学	78.4	84.1
6	7	国	浜松医科大学	78.3	80.6
7	13	公	奈良県立医科大学	77.1	77.3
8	15	公	福島県立医科大学	76.8	76.5
9	9	国	滋賀医科大学	76.5	78.6
10	4	国	京都大学	75.9	83.4
11	NR	私	東京医科大学	75.6	—
12	=17	私	日本医科大学	75.4	75.7
13	10	公	札幌医科大学	75.0	78.5
14	=17	私	愛知医科大学	73.9	75.7
15	8	国	東京工業大学	73.1	80.1
16	22	私	東京慈恵会医科大学	72.8	73.4
17	23	私	聖マリアンナ医科大学	72.4	72.1
18	19	私	大阪医科大学	72.3	75.5
19	27	私	産業医科大学	71.4	69.6
20	14	私	豊田工業大学	71.3	76.8

教育成果

2021順位	2020順位	区分	教育機関	2021スコア	2020スコア
1	1	国	京都大学	98.8	98.4
2	4	国	東北大学	98.4	96.6
3	3	国	九州大学	98.1	97.4
4	=7	国	北海道大学	97.8	94.1
5	5	国	名古屋大学	97.6	96.1
6	2	国	大阪大学	97.4	97.9
7	11	国	東京工業大学	95.9	92.8
8	=7	国	東京大学	95.1	94.1
9	6	国	筑波大学	94.8	94.4
10	10	私	早稲田大学	94.0	93.0
11	9	私	慶應義塾大学	93.4	93.7
12	13	国	広島大学	80.0	78.4
13	12	国	神戸大学	78.7	83.4
14	14	国	一橋大学	76.4	76.6
15	18	私	東京理科大学	65.2	69.5
16	15	国	横浜国立大学	61.9	72.6
17	16	国	千葉大学	59.8	72.0
18	43	私	国際基督教大学	56.6	60.6
19	20	私	立命館大学	56.1	68.5
20	22	公	大阪府立大学	55.1	67.6

※データ提供：Times Higher Education (THE)

とも共通性のある分野だが、日本版は「日本人学生の留学比率」「外国語で行われている講座の比率」という独自の項目が採用されている。私立大学の優位性がめだつ分野であるが、今年は上位20位内に国立大学が3校入ったのが目につく。私立では京都外国語大学が前回14位タイ↓7位、宮崎国際大学が19位タイ↓8位に順位を上げた。宮崎国際大学は学生数400人の小規模大学でありながら、多くの外国人教員を擁し、リベラルアーツ教育を提供している。こうした大学の強みが可視化されることとが、日本版ならではの特徴だ。

教育充実度

2021順位	2020順位	区分	教育機関	2021スコア	2020スコア
1	1	公	国際教養大学	92.5	93.0
2	2	私	国際基督教大学	91.3	90.5
3	4	私	立命館アジア太平洋大学	86.4	84.3
4	3	国	筑波大学	84.6	84.9
5	9	国	東京工業大学	83.9	80.8
6	8	国	東京外国語大学	83.2	81.5
7	5	国	北海道大学	82.7	83.4
8	10	国	東北大学	82.4	80.6
9	=15	私	津田塾大学	82.3	79.4
=10	11	国	名古屋大学	82.1	80.5
=10	6	私	上智大学	82.1	82.8
12	22	私	東京理科大学	82.0	78.6
13	7	私	神田外語大学	81.9	82.6
14	12	国	九州大学	81.8	79.9
15	24	私	明治大学	81.6	77.8
16	13	国	東京大学	80.9	79.8
17	26	国	大阪大学	80.8	77.2
18	18	国	広島大学	80.2	79.0
19	20	私	立命館大学	80.1	78.8
20	28	公	会津大学	79.6	76.8

国際性

2021順位	2020順位	区分	教育機関	2021スコア	2020スコア
1	1	公	国際教養大学	99.9	100.0
2	2	私	立命館アジア太平洋大学	99.7	99.0
3	3	私	国際基督教大学	98.0	97.6
4	4	私	大阪女学院大学	93.9	89.4
5	10	私	関西外国語大学	92.6	83.2
6	5	私	梅光学院大学	91.8	86.8
7	=14	私	京都外国語大学	91.5	81.1
8	=19	私	宮崎国際大学	91.4	74.6
9	6	私	創価大学	91.3	85.4
=10	8	公	福岡女子大学	90.2	83.8
=10	7	公	神戸市外国語大学	90.2	84.9
12	13	私	上智大学	90.1	81.3
13	=14	私	東京国際大学	88.1	81.1
14	12	国	東京外国語大学	87.7	81.9
15	24	国	東北大学	86.8	73.9
16	16	私	名古屋商科大学	85.9	80.6
17	9	私	名古屋外国語大学	85.5	83.7
18	17	私	麗澤大学	85.4	79.3
19	=19	私	早稲田大学	84.0	74.6
20	=29	国	一橋大学	83.4	70.9

キープ。私立大学では津田塾大学が前回15位タイ↓今回9位、東京理科大学が前回22位↓今回12位とランクを上げている。「教育成果」は、企業人事に対して卒業生の活躍度合いを、また研究者に対して教育の質が高い大学を、評判調査で聞いている。この分野では、前回11位だった東京工業大学が今回7位とTOP10入りした。また、国際基督教大学が、85位↓43位↓18位と年々順位を大きく上げている。同大学の教育で成長した学生が、最近の企業が求める人材像と合致しているとも言えるのではないかな。

【除外条件】
前提として、THEのデータコレクションポータルサイトにデータを入力し、提出したうえで、必須データがそろっていない大学
▼「認証評価」を受けていない大学
▼「学生調査」の有効回答数が50件に達していない大学

指標、割合に変更なし
3か年の経年比較が可能
THEは各種ランキングで用いる指標とその割合（比重）を随時見直しているが、日本版に関しては2019年版から変更していない。エントリーの形式、除外条件も以前と同様だ。自学の教育力の変化を経年で比較しやすくなっているため、ぜひ過去2年間のデータも併せて分析したい。特に自学の特色をエビデンスを基に把握するためにも、分野別ランキングの検証は重要だろう。

「教育リソース」は、学生一人あたりの資金や教員比率などから、どれだけ充実した教育が行われている可能性があるかを見ている。あらゆる教育活動のベースであることから、4分野のうち最も大きな割合を占めている。この分野は国立大学や医療系の学部を持つ大学が上位に入る傾向が高く、今回は東京医科歯科大学が初めて1位となった。豊田工業大学は医学部を持たない私立大学でありながら今年も20位内に入り、存在感を示している。「教育充実度」は、学生調査と、高校の進路指導教員への評判調査から、学生が在学中に得る経験の質を検証する。「教員・学生の交流、協働学習の機会」「授業・指導の充実度」「大学の推奨度」の3項目で構成される学生調査の比重（計18%）は、全体の中でも大きな割合を占める。この分野では、国際教養大学が、学生調査が初めて導入された2019年から連続して1位を

【図表2】日本版2021の指標

分野	Pillars	項目	Metrics	割合	対象年	データ元	備考
教育リソース Resources		学生一人あたりの資金		8%	2019年度	大学入力情報	経常収入／在籍学生数
		学生一人あたりの教員比率		8%	2019年度	大学入力情報	教員数／在籍学生数
		教員一人あたりの論文数		7%	2015-19年	エルゼビア社	論文数／教員数 ※ScopusよりTHEが抽出
		大学合格者の学力		6%	2019年度	ベネッセ	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
		教員一人あたりの競争的資金獲得数		5%	2019年度	大学入力情報	競争的資金制度の大学別への獲得件数／教員数
教育充実度 Engagement	学生調査	教員・学生の交流、協働学習の機会		6%	2019-20年	ベネッセ	2020年調査対象：日本の大学生・大学院生（留学生含む） 有効回答到達校数：278校 総回答数：49603件 ※2019年（回答数：45017件）、2020年の結果の2か年分を使用
		授業・指導の充実度		6%	2019-20年	ベネッセ	
		大学の推奨度		6%	2019-20年	ベネッセ	
	高校教員の評判調査	グローバル人材育成の重視		6%	2019-20年	ベネッセ	2020年調査対象：日本の高校の進路指導教員 調査書発送校数*：5371校 回答校数：1875校（特定の地域に有利・不利が出ない集計） ※2019年（回答校数：2181校）、2020年の結果の2か年分を使用
		入学後の能力伸長		6%	2019-20年	ベネッセ	
教育成果 Outcomes		企業人事の評判調査		8%	2019-20年	日経HR	調査対象：全上場企業と有力未上場企業 回答数：805社（2020）、815社（2019）の2か年分を使用 調査項目：過去2年間の新卒採用実績上位10大学の学生のイメージを12項目、各6段階で聞いている
		研究者の評判調査		8%	2019-20年	THE世界大学ランキング	研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
国際性 Environment		外国人学生比率		5%	2019年度	大学入力情報	在籍外国人学生数／在籍学生数
		外国人教員比率		5%	2019年度	大学入力情報	在籍外国人教員数／教員数
		日本人学生の留学比率		5%	2019年度	大学入力情報	日本人学生の留学者数／在籍学生数
		外国語で行われている講座の比率		5%	2019年度	大学入力情報	外国語で行われている講座数／全講座数

* 複数の科やコースを設置している高校には、調査票を複数校送付した場合もある



総合ランキング

2021 順位	2020 順位	区分	教育機関	都道府県	教育 リソース	教育 充実度	教育 成果	国際性	総合
1	1	国	東北大学	宮城県	78.4	82.4	98.4	86.8	84.5
2	=3	国	東京工業大学	東京都	73.1	83.9	95.9	79.8	81.3
3	=3	国	東京大学	東京都	79.1	80.9	95.1	69.7	80.3
4	2	国	京都大学	京都府	75.9	77.2	98.8	76.8	80.1
5	8	国	大阪大学	大阪府	71.0	80.8	97.4	78.1	79.6
6	6	国	北海道大学	北海道	67.0	82.7	97.8	80.8	79.4
7	7	国	名古屋大学	愛知県	71.0	82.1	97.6	74.5	79.3
8	5	国	九州大学	福岡県	69.1	81.8	98.1	76.0	78.9
9	9	国	筑波大学	茨城県	66.0	84.6	94.8	71.2	77.2
10	12	国	広島大学	広島県	59.7	80.2	80.0	75.0	72.1
11	11	私	国際基督教大学	東京都	45.8	91.3	56.6	98.0	71.6
12	14	私	慶應義塾大学	東京都	55.6	76.6	93.4	72.2	71.3
13	13	私	早稲田大学	東京都	46.3	78.2	94.0	84.0	71.1
14	10	公	国際教養大学	秋田県	45.5	92.5	41.6	99.9	69.9
15	15	国	神戸大学	兵庫県	59.3	77.9	78.7	68.5	69.8
16	16	国	一橋大学	東京都	43.7	78.3	76.4	83.4	67.3
17	=29	国	東京医科歯科大学	東京都	80.3	57.7	37.8	69.5	64.6
=18	=18	国	金沢大学	石川県	60.1	75.3	45.3	68.7	64.0
=18	20	私	上智大学	東京都	37.4	82.1	53.8	90.1	64.0
=20	23	国	千葉大学	千葉県	56.4	77.0	59.8	59.3	63.7
=20	=18	国	東京農工大学	東京都	63.1	70.2	51.2	64.9	63.7
22	=21	私	立命館アジア太平洋大学	大分県	20.9 -29.5	86.4	47.9	99.7	62.9
23	28	国	岡山大学	岡山県	54.3	72.5	51.8	69.1	62.3
24	24	公	会津大学	福島県	57.7	79.6	15.8 -25.7	76.7	61.9
=25	17	国	長岡技術科学大学	新潟県	54.0	68.9	42.8	77.7	61.4
=25	25	国	お茶の水女子大学	東京都	56.6	79.2	39.1	60.9	61.4
27	31	国	横浜国立大学	神奈川県	47.7	72.7	61.9	64.9	60.9
28	=21	国	東京外国語大学	東京都	32.8	83.2	44.5	87.7	60.8
29	=29	国	東京海洋大学	東京都	57.0	69.0	50.1	61.6	60.4
=30	33	私	立命館大学	京都府	35.2	80.1	56.1	76.3	60.2
=30	35	私	芝浦工業大学	東京都	42.6	76.1	48.1	76.1	60.2
32	39	私	東京理科大学	東京都	49.0	82.0	65.2	41.5	60.0
=33	27	国	熊本大学	熊本県	56.1	70.4	43.2	63.2	59.8
=33	43	国	長崎大学	長崎県	55.6	68.2	47.1	64.8	59.8
35	26	国	京都工芸繊維大学	京都府	53.4	66.2	37.2	74.4	58.9
36	32	国	豊橋技術科学大学	愛知県	60.6	55.2	32.3	79.7	58.3
37	38	国	九州工業大学	福岡県	49.0	74.9	45.7	57.6	57.9
38	41	国	電気通信大学	東京都	57.1	64.1	48.3	54.2	57.2
=39	=53	私	明治大学	東京都	34.4	81.6	51.3	63.0	57.0

2021 順位	2020 順位	区分	教育機関	都道府県	教育 リソース	教育 充実度	教育 成果	国際性	総合
=39	=36	公	横浜市立大学	神奈川県	65.1	71.1	28.2	45.0	57.0
41	=36	私	神田外語大学	千葉県	20.9 -29.5	81.9	38.6	81.0	56.9
42	42	公	東京都立大学	東京都	52.2	67.7	53.5	51.1	56.8
43	=45	私	同志社大学	京都府	33.4	77.0	47.4	70.6	56.2
44	=47	私	立教大学	東京都	31.3	79.5	36.2	76.5	55.6
45	34	私	豊田工業大学	愛知県	71.3	57.6	32.2	42.6	55.2
46	=47	国	秋田大学	秋田県	50.4	67.5	40.8	54.6	54.8
47	=49	私	学習院大学	東京都	36.2	67.9	44.8	71.8	54.2
48	=45	私	関西学院大学	兵庫県	32.9	73.9	40.8	71.1	54.1
49	40	公	福岡女子大学	福岡県	40.7	73.2	-	90.2	53.9
50	60	私	中央大学	東京都	36.8	77.7	41.8	56.8	53.8
51	=53	国	新潟大学	新潟県	50.6	74.0	36.6	41.5	53.6
52	=72	私	青山学院大学	東京都	31.7	77.5	45.0	61.3	53.5
53	=49	公	大阪市立大学	大阪府	60.8	61.2	45.2	29.4 -39.9	53.4
54	52	国	信州大学	長野県	50.7	70.7	47.2	29.4 -39.9	53.3
55	51	公	神戸市外国語大学	兵庫県	20.9 -29.5	71.7	31.4	90.2	53.2
56	56	国	名古屋工業大学	愛知県	50.9	62.0	47.8	45.6	52.7
57	58	国	福井大学	福井県	55.4	56.5	43.2	49.2	52.5
58	44	私	津田塾大学	東京都	29.8	82.3	34.5	59.5	52.2
59	=65	国	山口大学	山口県	45.1	68.9	35.4	52.2	52.1
=60	57	公	大阪府立大学	大阪府	54.0	57.0	55.1	29.4 -39.9	51.7
=60	=62	私	聖路加国際大学	東京都	61.1	56.9	-	68.8	51.7
=62	=62	私	関西外国語大学	大阪府	-	69.0	33.4	92.6	51.3
=62	=70	国	宇都宮大学	栃木県	43.1	66.6	48.9	44.2	51.3
64	=65	私	南山大学	愛知県	20.9 -29.5	74.0	31.2	73.0	51.1
65	68	私	法政大学	東京都	31.6	73.3	40.1	59.4	51.0
66	=75	国	岐阜大学	岐阜県	55.6	56.0	40.4	43.9	50.9
67	59	国	鳥取大学	鳥取県	54.3	65.0	39.0	29.4 -39.9	50.6
68	=75	私	創価大学	東京都	20.9 -29.5	55.7	34.0	91.3	50.4
=69	=75	私	近畿大学	大阪府	35.1	75.2	42.8	44.8	50.3
=69	=65	国	山形大学	山形県	47.1	69.3	40.9	29.4 -39.9	50.3
=71	55	国	帯広畜産大学	北海道	57.1	47.7 -55.1	15.8 -25.7	54.9	50.2
=71	83	国	埼玉大学	埼玉県	41.6	62.0	40.0	55.3	50.2
73	101 -110	私	京都外国語大学	京都府	20.9 -29.5	59.5	31.6	91.5	50.1
74	93	私	順天堂大学	東京都	63.9	55.9	41.8	-	50.0
=75	78	国	群馬大学	群馬県	54.1	62.3	36.2	29.4 -39.9	49.8
=75	=72	私	関西大学	大阪府	34.3	69.6	42.6	52.3	49.8
=77	80	国	佐賀大学	佐賀県	49.3	65.2	29.0	42.6	49.5
=77	64	私	東洋大学	東京都	-	77.7	32.6	71.5	49.5

*Times Higher Education (THE) が2021年4月16日に公表した情報に基づいています
*「THE世界大学ランキング日本版2021」の発表後、9大学の教育充実度分野のスコアが正しく算出されていないことが判明しました。正しいデータに基づいてスコアを再計算した結果、9大学中6大学の総合順位・スコア、および7大学の教育充実度順位・スコアが訂正されました。THEのランキング訂正ポリシーの詳細は、下記のWebページをご覧ください
<https://www.timeshighereducation.com/times-higher-education-world-university-rankings-corrections-policy>

2021 順位	2020 順位	区分	教育機関	都道府県	教育 リソース	教育 充実度	教育 成果	国際性	総合
79	NR	国	弘前大学	青森県	51.4	69.4	30.5	29.4 -39.9	49.3
79	=81	国	島根大学	島根県	50.1	59.1	29.9	48.1	49.2
80	90	私	名古屋外国語大学	愛知県	-	66.1	34.4	85.5	49.1
81	=81	国	鹿児島大学	鹿児島県	50.1	59.7	30.0	44.6	48.7
82	84	国	静岡大学	静岡県	42.7	62.3	35.8	47.8	48.5
83	=91	公	名古屋市立大学	愛知県	61.7	47.7 -55.1	28.9	29.4 -39.9	48.3
=84	69	国	徳島大学	徳島県	53.9	47.7 -55.1	37.8	29.4 -39.9	48.0
=84	79	国	富山大学	富山県	48.5	57.7	35.4	42.4	48.0
86	61	国	愛媛大学	愛媛県	46.0	59.1	39.9	41.0	47.9
87	=91	国	岩手大学	岩手県	41.2	63.9	47.0	29.4 -39.9	47.8
=88	=95	公	愛知県立大学	愛知県	37.6	56.5	29.0	65.7	47.5
=88	=70	公	公立はこだて未来大学	北海道	41.6	74.4	15.8 -25.7	29.4 -39.9	47.5
=88	86	公	北九州市立大学	福岡県	20.9 -29.5	70.8	32.4	61.4	47.5
=91	85	公	秋田県立大学	秋田県	50.2	65.5	34.8	-	47.4
=91	=72	公	高知工科大学	高知県	42.3	70.0	35.2	29.4 -39.9	47.4
=91	97	私	武蔵大学	東京都	20.9 -29.5	71.7	38.4	62.9	47.4
94	87	公	静岡県立大学	静岡県	50.3	61.0	15.8 -25.7	29.4 -39.9	47.3
95	101 -110	国	滋賀医科大学	滋賀県	76.5	-	-	44.3	47.2
96	98	国	香川大学	香川県	54.7	47.7 -55.1	41.8	29.4 -39.9	47.1
97	111 -120	国	奈良女子大学	奈良県	49.4	47.7 -55.1	15.8 -25.7	52.2	47.0
98	101 -110	私	獨協大学	埼玉県	-	70.4	41.9	64.4	46.7
99	111 -120	公	兵庫県立大学	兵庫県	44.1	58.4	38.0	40.0	46.6
100	=95	私	桜美林大学	東京都	-	68.7	36.4	76.3	46.5
101 -110	88	国	茨城大学	茨城県	38.5	66.8	35.3	29.4 -39.9	44.7 -46.3
	89	国	高知大学	高知県	51.9	47.7 -55.1	29.9	44.7 -39.9	46.3
	101 -110	私	京都産業大学	京都府	20.9 -29.5	68.4	33.2	51.9	44.7 -46.3
	111 -120	私	明治学院大学	東京都	20.9 -29.5	65.9	38.9	63.2	44.7 -46.3
	94	国	三重大学	三重県	46.5	57.4	33.4	29.4 -39.9	44.7 -46.3
	101 -110	公	新潟県立大学	新潟県	20.9 -29.5	63.5	15.8 -25.7	73.3	44.7 -46.3
	=100	私	龍谷大学	京都府	20.9 -29.5	68.3	29.4	51.9	44.7 -46.3
	99	公	札幌医科大学	北海道	75.0	47.7 -55.1	-	-	44.7 -46.3
	=100	私	昭和女子大学	東京都	20.9 -29.5	70.3	15.8 -25.7	61.4	44.7 -46.3
	121 -130	国	山梨大学	山梨県	53.4	47.7 -55.1	15.8 -25.7	40.2	44.7 -46.3
111 -120	131 -140	国	福島大学	福島県	37.8	59.0	35.8	29.4 -39.9	43.4 -44.3
	101 -110	国	浜松医科大学	静岡県	78.3	-	-	-	43.4 -44.3
	121 -130	私	兵庫医科大学	兵庫県	80.0	-	-	-	43.4 -44.3
	101 -110	私	金沢工業大学	石川県	20.9 -29.5	78.6	50.0	-	43.4 -44.3
	111 -120	公	京都府立医科大学	京都府	79.6	-	-	-	43.4 -44.3
	131 -140	私	日本医科大学	東京都	75.4	-	-	-	43.4 -44.3

*1～100位は個別に順位がつきます。101位から150位は約10校ごとを同順位としています
*「=」：同順位の大学あり(英語表記の大学名のアルファベット順に掲載)／
「-」：各分野の順位が201位以下のためスコア非表示／
「NR」：前年エントリーしていない、エントリーしたがランキングがつかなかった大学
*データ提供：Times Higher Education (THE)

2021 順位	2020 順位	区分	教育機関	都道府 県	教育 リソース	教育 充実度	教育 成果	国際性	総合
111 -120	141 -150	国	小樽商科大学	北海道	20.9 -29.5	72.4	15.8 -25.7	56.0	43.4 -44.3
	151 -200	私	麗澤大学	千葉県	-	57.8	29.4	85.4	43.4 -44.3
	101 -110	私	西南学院大学	福岡県	-	71.6	29.7	57.1	43.4 -44.3
	131 -140	私	東京国際大学	埼玉県	-	57.5	15.8 -25.7	88.1	43.4 -44.3
121 -130	121 -130	公	福島県立医科大学	福島県	76.8	-	-	-	42.3 -43.2
	101 -110	私	北里大学	東京都	54.1	56.2	32.7	-	42.3 -43.2
	121 -130	私	工学院大学	東京都	40.7	47.7 -55.1	32.6	41.9	42.3 -43.2
	111 -120	国	宮崎大学	宮崎県	52.9	-	15.8 -25.7	29.4 -39.9	42.3 -43.2
	151 -200	私	宮崎国際大学	宮崎県	-	61.8	-	91.4	42.3 -43.2
	111 -120	私	名古屋商科大学	愛知県	-	64.5	15.8 -25.7	85.9	42.3 -43.2
	151 -200	私	産業医科大学	福岡県	71.4	-	-	29.4 -39.9	42.3 -43.2
	111 -120	国	琉球大学	沖縄県	44.2	55.4	-	45.6	42.3 -43.2
	111 -120	私	成蹊大学	東京都	32.6	65.1	32.0	29.4 -39.9	42.3 -43.2
	131 -140	私	帝京大学	東京都	20.9 -29.5	65.6	31.8	29.4 -39.9	42.3 -43.2
131 -140	131 -140	私	愛知医科大学	愛知県	73.9	-	-	-	41.4 -42.1
	141 -150	私	中京大学	愛知県	20.9 -29.5	61.9	30.8	56.8	41.4 -42.1
	121 -130	私	福岡工業大学	福岡県	33.7	65.5	26.6	29.4 -39.9	41.4 -42.1
	121 -130	私	東京慈恵会医科大学	東京都	72.8	47.7 -55.1	-	-	41.4 -42.1
	111 -120	国	北見工業大学	北海道	38.3	55.7	29.8	29.4 -39.9	41.4 -42.1
	131 -140	国	室蘭工業大学	北海道	34.0	58.3	31.9	29.4 -39.9	41.4 -42.1
	151 -200	私	武蔵野大学	東京都	20.9 -29.5	47.7 -55.1	26.4	65.0	41.4 -42.1
	121 -130	公	奈良県立医科大学	奈良県	77.1	-	-	-	41.4 -42.1
	141 -150	私	東京都市大学	東京都	31.3	47.7 -55.1	31.8	48.6	41.4 -42.1
	131 -140	私	東京女子大学	東京都	20.9 -29.5	63.4	-	61.4	41.4 -42.1
	151 -200	公	都留文科大学	山梨県	-	70.8	-	56.1	41.4 -42.1
141 -150	131 -140	私	同志社女子大学	京都府	20.9 -29.5	61.8	29.0	46.2	40.3 -41.1
	141 -150	私	福岡大学	福岡県	33.6	61.8	31.0	29.4 -39.9	40.3 -41.1
	121 -130	私	日本女子大学	東京都	35.5	47.7 -55.1	36.5	29.4 -39.9	40.3 -41.1
	151 -200	私	神奈川大学	神奈川県	20.9 -29.5	62.6	26.6	50.8	40.3 -41.1
	NR	私	金沢医科大学	石川県	68.0	-	-	29.4 -39.9	40.3 -41.1
	141 -150	私	名城大学	愛知県	32.3	61.4	31.7	-	40.3 -41.1
	121 -130	私	日本大学	東京都	20.9 -29.5	67.9	35.2	-	40.3 -41.1
	151 -200	公	県立広島大学	広島県	41.1	47.7 -55.1	-	45.1	40.3 -41.1
	151 -200	私	聖マリアンナ医科大学	神奈川県	72.4	-	-	-	40.3 -41.1
	141 -150	私	東海大学	東京都	31.5	61.0	31.7	29.4 -39.9	40.3 -41.1
	101 -110	私	東京農業大学	東京都	20.9 -29.5	64.0	37.1	-	40.3 -41.1
	NR	私	東京医科大学	東京都	75.6	-	-	-	40.3 -41.1
	NR	国	和歌山大学	和歌山県	32.5	47.7 -55.1	31.7	40.4	40.3 -41.1

高校教員はどう見たか？

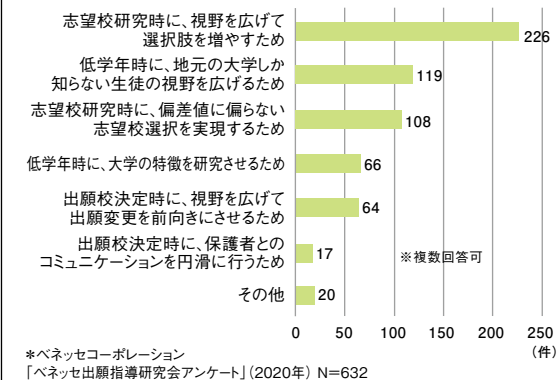
エリア別「教育充実度」ランキング

日本版2021「教育充実度」のスコアをエリア別に集計したランキング表を基にして、各エリアの高校教員が大学に望む教育や連携を語る。



エリア別ランキング表について
THE世界大学ランキング日本版2021の「教育充実度」分野のスコアに基づく
*「=」：同順位（英語表記のアルファベット順に掲載）
※データ提供：Times Higher Education (THE)。「THE世界大学ランキング日本版2021」発表後に修正されたデータで掲載しています。

高校教員はTHE世界大学ランキング日本版をどう使っているか？



知りたいのは

その施策の「狙い」

宮城県気仙沼高校

生徒数…1学年約230人
合格者数…国公立大学33人、私立大学183人(2020年度)
研究企画部(SGH)主任 鈴木悠生先生

育成方針がわかれば 合う生徒を勧められる

個人的に教育が充実していると感じるのは、宮城大学、東北工業大学などです。例えば探究学習の

北海道・東北

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

順位	教育機関	スコア
1	国際教養大学	92.5
7	北海道大学	82.7
8	東北大学	82.4
20	会津大学	79.6
38	公立ほこだて未来大学	74.4
46	小樽商科大学	72.4
60	弘前大学	69.4
60	山形大学	69.3
73	秋田大学	67.5
=81	秋田県立大学	65.5
86	東北学院大学	64.8
90	岩手大学	63.9
104	岩手県立大学	61.7
112	東北公益文科大学	60.5
114	北星学園大学	60.2
121	福島大学	59.0
123	室蘭工業大学	58.3
=143	北見工業大学	55.7
=149	宮城大学	55.2
151-200	釧路公立大学	47.7-55.1
151-200	宮城学院女子大学	47.7-55.1
151-200	帯広畜産大学	47.7-55.1
151-200	札幌学院大学	47.7-55.1
151-200	札幌医科大学	47.7-55.1
151-200	東北工業大学	47.7-55.1

徒の人氣が高まりそうです。

残念ながらエリア内の大学は、高校向けの情報提供にあまり積極的ではない印象です。中には、今は理系の学部もそうう総合大学であっても、いまだ多くの高校教員が昔の「文系の大学」のイメージを持つ大学もあります。新しい動きを高校に伝える際は、新学部や新プログラムといった「内容」だけでなく、社会の変化や将来を見据えてどんな人材の育成を行うのかという「狙い」が重要です。施策の意図がわかれば、それに合う生徒に進学を勧めやすくなります。

郊外にある本校にとっては、オンラインで大学のイベントに参加しやすくなり、生徒の大学選びの幅が広がりました。大学の公式SNSをフォローして情報を入手する生徒も増えています。一方で対面イベントの中止による大学との接触機会の減少を補おうと、探究学習等の発表会に大学を招いてもいます。学びを通じてたいい連携ができつつあると感じます。

北関東・甲信越

茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、長野県

順位	教育機関	スコア
4	筑波大学	84.6
=39	新潟大学	74.0
=51	都留文科大学	70.8
53	信州大学	70.7
=63	長岡技術科学大学	68.9
74	茨城大学	66.8
75	宇都宮大学	66.6
=76	共愛学園前橋国際大学	66.2
91	新潟県立大学	63.5
=96	群馬大学	62.3
105	群馬県立女子大学	61.6
151-200	群馬県立県民健康科学大学	47.7-55.1
151-200	白鷗大学	47.7-55.1
151-200	茨城県立医療大学	47.7-55.1
151-200	新潟医療福祉大学	47.7-55.1
151-200	山梨大学	47.7-55.1

学生ににじみ出る その大学の教育力

前橋市立前橋高校

生徒数…1学年約240人
合格者数…国公立大学23人、私立大学209人(2020年度)
進路指導主任 田崎潤先生*2

県外進学希望者は減少 地元大学の教育力に期待

ランクインした私立3大学は、いずれも教育に特色があります。共愛学園前橋国際大学はここ2、3年で県内での評判が急上昇。本校からの入学者も増えており、高大連携授業で来校した際に見せる卒業生のリーダーシップやプレゼン能力は高校時代とは見違えるようです。PBLで社会人と関わる機会が多い教育がその要因の一

つでしょう。白鷗大学は小中学校

の教員採用実績が向上しており、新潟医療福祉大学はスポーツ選手、救急救命士など特徴的な人材育成をしています。

大学の教育力を知る一番の方法は、学生を見ることです。オープンキャンパス等のイベントでは、学生による説明を聞くとも生徒は研究内容を身近に感じますし、高大連携で生徒が学生と触れ合えば、生徒自身が教育力を体感し、その大学への理解を深めます。

首都圏の大学への進学は、遠隔授業なら行く意味がなく、感染症への不安もあり避ける傾向にあります。県内進学の割合は、6割から7割へと増加するでしょう。だからこそ地元の大学には学生が充実した大学生活を送れるよう、一層がんばっていただきたいです。

北陸・東海

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

順位	教育機関	スコア
=10	名古屋大学	82.1
23	金沢工業大学	78.6
35	金沢大学	75.3
=39	南山大学	74.0
78	名古屋外国語大学	66.1
87	名古屋商科大学	64.5
=96	静岡大学	62.3
=98	名古屋工業大学	62.0
100	中京大学	61.9
=106	愛知大学	61.4
=106	名城大学	61.4
=109	静岡県立大学	61.0
=126	富山大学	57.7
129	豊田工業大学	57.6
132	三重大学	57.4
=136	愛知県立大学	56.5
=136	福井大学	56.5
140	岐阜大学	56.0
=141	金沢星稜大学	55.9
=141	富山県立大学	55.9
=143	中部大学	55.7
=149	豊橋技術科学大学	55.2
151-200	名古屋市立大学	47.7-55.1
151-200	椋山女学園大学	47.7-55.1

教職員が熱心な 大学は信用できる

愛知県立豊明高校

生徒数…1学年約260人
合格者数…国公立大学6人、私立大学248人(2020年度)
3年主任 嘉賀正泰先生

数値化された教育力を 大学調べに生かしたい

私は偏差値ではなく、その大学で学びたい理由を軸に大学を選ぶよう生徒に指導したり、ST比やニッチな研究室がある大学を自分で調べたりしていたので、教育力を数値化したこのランキングは非常に参考になりました。スコアを参考に教育の特色を調べれば、各大学への理解が進むでしょう。来校時、職員が卒業生の様子を

詳しく報告してくれた金沢工業大学、卒業生への講演依頼に真摯に取り組んでくれた名城大学には好印象を持っています。こうしたやり取りで、親身になってくれる教職員がいるとわかった大学は、自信を持って生徒に勧められます。学生を育てるのは、大学という人れ物ではなく、生身の教職員だからです。

生徒の傾向としては、もともと強かった地元志向に拍車がかかり、自宅から自転車通える大学に学校推薦型選抜で入る生徒が増えていきます。結果、延べ合格者数が5年前の半分に減り、それを見た大学が指定校推薦枠を徐々に減らしている現状があります。今後はそうした事情についても本音で話せる大学、教職員を増やせていけたら、と考えています。

*2 取材当時。2021年4月より、群馬県立沼田高校定時制課程教頭

*1 全国高等学校デザイン選手権大会

首都圏		
埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県		
順位	教育機関	スコア
2	国際基督教大学	91.3
5	東京工業大学	83.9
6	東京外国語大学	83.2
9	津田塾大学	82.3
=10	上智大学	82.1
12	東京理科大学	82.0
13	神田外語大学	81.9
15	明治大学	81.6
16	東京大学	80.9
21	立教大学	79.5
22	お茶の水女子大学	79.2
24	一橋大学	78.3
25	早稲田大学	78.2
=27	中央大学	77.7
=27	東洋大学	77.7
29	青山学院大学	77.5
=31	千葉大学	77.0
33	慶應義塾大学	76.6
34	芝浦工業大学	76.1
42	法政大学	73.3
44	横浜国立大学	72.7
=47	武蔵大学	71.7
50	横浜国立大学	71.1
=54	獨協大学	70.4
56	昭和女子大学	70.3
57	東京農工大学	70.2
=61	東京海洋大学	69.0
65	千葉工業大学	68.8
66	桜美林大学	68.7
=70	学習院大学	67.9
=70	日本大学	67.9
72	東京都立大学	67.7
79	明治学院大学	65.9
80	帝京大学	65.6
84	成蹊大学	65.1
88	電気通信大学	64.1
89	東京農業大学	64.0
92	東京女子大学	63.4
93	神奈川大学	62.6
=98	埼玉大学	62.0
=109	東海大学	61.0
113	専修大学	60.4
=117	東京電機大学	59.5
125	麗澤大学	57.8
=126	東京医科歯科大学	57.7
=130	東京国際大学	57.5
134	聖路加国際大学	56.9
135	埼玉県立大学	56.6
138	駒澤大学	56.4
139	北里大学	56.2
=141	順天堂大学	55.9
=143	創価大学	55.7
151-200	亜細亜大学	47.7-55.1
151-200	大東文化大学	47.7-55.1
151-200	日本女子大学	47.7-55.1
151-200	東京慈恵会医科大学	47.7-55.1
151-200	城西国際大学	47.7-55.1
151-200	神奈川工科大学	47.7-55.1
151-200	関東学院大学	47.7-55.1
151-200	恵泉女学園大学	47.7-55.1
151-200	工学院大学	47.7-55.1
151-200	明海大学	47.7-55.1
151-200	武蔵野大学	47.7-55.1
151-200	二松学舎大学	47.7-55.1
151-200	成城大学	47.7-55.1
151-200	拓殖大学	47.7-55.1
151-200	多摩美術大学	47.7-55.1
151-200	玉川大学	47.7-55.1
151-200	帝京平成大学	47.7-55.1
151-200	東京都市大学	47.7-55.1

学生の期待に応える 努力の証

千葉県立小金高校

生徒数…1学年約320人
合格者数…国公立大学55人、
私立大学1374人(2020年度)
総合学科部 **樫仁三千先生**

学生がメンターとなる 交流を望みたい

偏差値ではわからない、その大学が4年間の学びに向き合える場所かどうかを判断する一つの基準として、意味があるランキングだと思っています。特に学生調査結果が反映された「教育充実度」は、学生の期待の実現度を表していると言えます。昨今の学生が期待しているであろう、学修サポート、アクティブ・ラーニングなどにしつ

かり取り組む大学が評価されているのではないのでしょうか。特に、いわゆる「有名大」ではないのにスコアが高い大学には教育への努力を感じます。

上位大の中では東洋大学は学部数も多く、学生の「学びたい」を実現できる機会、環境がある大学という印象です。一方地元の千葉工業大学は、ロボットや宇宙に強いといった特色が際立っています。芝浦工業大学のように、国際系の大学・学部ではないのに「国際性」スコアが高い大学にも注目しています。コロナ禍によりオンライン上の交流が活性化している現在は、国内にしながら国際化が図れるチャンスでしょう。

生徒、学生が自身の生き方を主体的に考えられるようになるためには、学びをベースとした高大接

統が重要だと感じています。高校として強く望むのは、ソフト面での連携です。設備や器具を借りるハード面での連携はしやすいのですが、ソフト面の連携、つまり学生と生徒が交流する連携は、学生への信頼度が高い大学しか引き受けてくれません。生徒にとつてのロールモデルとして、またメンターとして、探究活動に参加したり、学生生活や進路についての話し相手になったりするような接統が理想です。ランク外ですが、産業能率大学は高校や企業との交流を前提とした教育を行っており、前任校ではお世話になっていました。

「イベント」ではなく 「日常」の高大連携を

学生が主体性、自律性を発揮できる大学ほど、「教育充実度」は高くなると思います。難関大学には最初からそうした資質を備えた学生が集まりますが、そうではないのに名前が挙がっている大学は、それらの資質を鍛える教育が行われているのでしょうか。例えば東洋大学は大規模大学なので個々の学生のケアは難しいだろうとい

私立三浦学苑高校（神奈川県） 教頭 野櫻慎二先生

生徒数…1学年約440人
合格者数…国公立大学6人、
私立大学347人(2020年度)

主体性、自律性を 鍛える大学を探せる



Report 探究学習で大学研究!

～高校生がランキングから見た 志望大の課題と改革案を大学に提案

「何をめざしているのかわからない」 ——未来の志望校にズバズバ指摘

志望者が東大にもの申す! ——神奈川県の私立男子校である聖光学院中学校・高校の高校1年生グループは、THE世界大学ランキングのデータなどを基に東京大学が抱える課題を分析。2021年1月、代表の3人が、大学に対して改革案のプレゼンを行った。探究学習の一環としてこの企画を考えたのは、同高校の五十棲浩二教諭。「本校の生徒は例年、半数近くが東京大学を受験する。ただ、東大をめざすのが当たり前という空気に流され、深く考えずに志望する生徒も少なくない。海外大学も含めて選択肢が多様化する中で、なぜ東大を選ぶのか。ランキングを切り口に東大を相対的にとらえ、志望する理由や大学で自分が何をしたいのかを確認する機会にしたいと考え、企画した」と話す。

1人目のプレゼンター、梅村知仁さんはTHE世界大学ランキングによる東大の分野別スコアを提示し、「突出して高い分野も低い分野もない。広報されているビジョンなどを読んでも、めざす姿が見えてこない」と分析。「スタンフォード大学と言えば科学技術の社会実装」といったように、東大も明確な個性を打ち出すべきだとして、「官公庁との密接な連携」を世界にアピールしてはどうかと提案した。

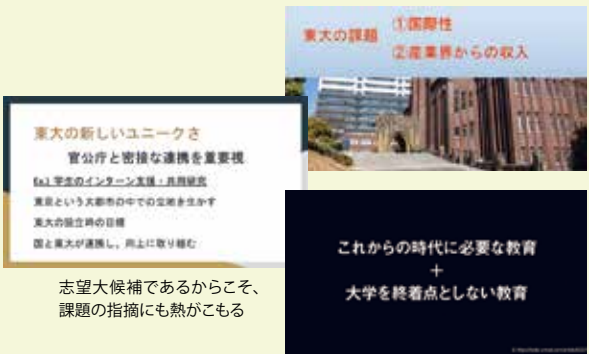
2人目の飼沼隼さんは、大学ランキングは海外学生の留学先選び等に影響を持つことから、順位が下降傾向にある現状にてこの入れが必要だとの見解だ。世界版、日本版共に「国際性」が課題の一つと指摘。「英語で行う授業の比率は、国際教養大学の80.4%に対し、9.8%しかない。例えばこの率を上げれば、海外の留学希望者等に教育の魅力を知ってもらえるのでは」と述べた後、「そもそも大学から公表されて

いるデータが少なく、調べづらかった」との感想も加えた。3人目、鷲見将太郎さんは、日本語による学問環境が充実している日本では「国際性」のスコアを上げるより、「日本への貢献度トップの大学」をめざすべきと主張。国内の優秀な受験生を確保するための施策として、総合型選抜と飛び級制度の積極的な活用を挙げた。

高校生から「めざしたい」と思われるために 魅力づくりとその発信は怠れない

3人の発表に共通していたのは、「東大の魅力が国内外に十分に伝わっていない」という見方。東大の戦略や活動を社会に示す「統合報告書」*の作成担当者、青木志帆IRデータ課長は、「指摘はその通り。最新の報告書はまさに、東大は誰に向けて何をアピールすべきか、という課題意識に基づいて作成した」と話した。有馬孝尚総長特任補佐(IR担当)は「国際化や特色化は、学内でも議論が盛んな部分。国内の高校生には入試問題を通じて東大の考え方を伝えてきたつもりだが、こちらから伝えるだけでなく、それらの論点について高校生の声も聴きたいと思わせてくれた」とコメントした。

最後に、生徒からは、「東大をめざすことが当たり前風潮に疑問を持っていたが、調べた結果、あらためて行きたいと思った」「1年間調べて研究や学生へのすばらしさを実感。高校生向けにもっと情報発信を」などの声が集まった。高校生から主体的に選ばれる大学になるには、彼らの関心に応える情報を提供し続ける必要があるようだ。



*東大の「統合報告書」 <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-relations/IRIR.html>

う先入観がありました。このようにに学生から評価されているのであれば、何らかの教育改革がなされているのでしょうか。今の生徒は寄り添うアプローチが重要なので、それがわかれば安心して生徒を預けることができます。

入試や出前授業といった「イベント」を通じた高大連携はその場限りのものであるため、そこで触れた学問を自分ごととして深めていくのは、多くの生徒にとって難しいことです。一方、日頃の授業や探究学習の中での連携は、高校での学びとの連続性があるため、生徒が学問や進路を深掘りするきっかけになりやすいと感じます。前年度に行った地域活性化に関する探究学習には、関東学院大学の先生が初対面にもかかわらず、快く参加してくれました。最近では東京都立大学の入試担当職員とも、探究学習をはじめとする教育談義を交わしています。また地元の関東学院大学、神奈川歯科大学には、生徒が図書館を利用させてもらう協力を取り付けています。

このように、高校と大学の学びが「日常」の中でつながるのが一つの理想形です。オンラインの隆盛により、こうした交流の敷居が下がることを期待しています。

近畿		
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県		
順位	教育機関	スコア
17	大阪大学	80.8
19	立命館大学	80.1
26	神戸大学	77.9
30	京都大学	77.2
=31	同志社大学	77.0
36	近畿大学	75.2
41	関西学院大学	73.9
=47	神戸市外国語大学	71.7
59	関西大学	69.6
=61	関西外国語大学	69.0
67	京都産業大学	68.4
68	龍谷大学	68.3
=76	京都工芸繊維大学	66.2
=96	京都女子大学	62.3
=101	同志社女子大学	61.8
108	大阪市立大学	61.2
115	甲南大学	60.1
=117	京都外国語大学	59.5
122	兵庫県立大学	58.4
124	神戸女学院大学	58.2
=130	武庫川女子大学	57.5
133	大阪府立大学	57.0
147	滋賀大学	55.6
151-200	佛教大学	47.7-55.1
151-200	関西国際大学	47.7-55.1
151-200	神戸学院大学	47.7-55.1
151-200	京都先端科学大学	47.7-55.1
151-200	京都府立大学	47.7-55.1
151-200	京都橋大学	47.7-55.1
151-200	奈良女子大学	47.7-55.1
151-200	大阪経済法科大学	47.7-55.1
151-200	大阪女学院大学	47.7-55.1
151-200	大阪工業大学	47.7-55.1
151-200	和歌山大学	47.7-55.1

学生に活躍の場を提供する大学に注目

京都市立京都工学院高校

生徒数…1学年約240人
合格者数…国公立大学20人、
私立大学218人（2020年度）
進路指導主事 有本淳一先生

工業高校の視点で注目した私立4大学

工業高校である本校が注目した大学はまず、京都先端科学大学。専門教育を英語で行うと同時に、英語が苦手な学生を手厚く支援しています。龍谷大学や京都橋大学は、学生の教育ニーズをふまえて学部の改組や拡張を行っている印象です。また大阪工業大学は、理系の総合大学として存在感があります。

生徒にもこうした大学の特色を知ってもらいたいのですが、コロナ禍によりオープンキャンパスが中止され、大学研究が進んでいません。そこで、Webサイトや大学案内などで大学を調べるワークシートを用意して、生徒の視野を広げる指導を考えています。

私は常日頃から生徒に対して、学会などで学生が発表したり、主体的に学生が活動するPBLを実施したりするなど、学生に活躍の場を提供している「学生を輝かせてくれる大学」を選ぶようにと話しています。以前、関西大学の職員と縁があり、同大学で学生が活躍する様子を講演してもらったところ、同大学への出願が増えました。自分が大学でどう活躍できるかは、生徒の志望に大きな影響を与える情報です。

もっと知りたい学生の成長プロセス

大阪府立牧野高校

生徒数…1学年約280人
合格者数…国公立大学25人、
私立大学993人（2019年度）
校長 日笠賢先生

入試・教育の変化により大学への期待も変わる

2021年度入試の結果を受けて、高校が求める大学の情報が変化すると考えています。

2020年度入試までは、入学定員管理厳格化等の影響を受けた厳しい入試が続き、生徒も教員も「合格」以外のことを考える余裕があまりありませんでした。しかし2021年度入試では、関関同立の現役合格者数が前年度の1・

7倍の197人になるなど、一般選抜でがんばれば志望大学に合格できる状況になったという感触があります。このタイミングで生徒には、大学を卒業した先のことをもっと考えさせたいと思います。

本年度の3年生以降は入学時から探究学習に取り組んできた学年です。探究学習では大学卒業後の自分をイメージし考える指導を行っています。そのため、今後は社会で実現したいことを基に大学を選ぶ傾向が強まるでしょう。

生徒の進路意識の変化をふまえて大学に期待したいことの1つは、学生の成長プロセスの情報提供です。学生が何をめざし、どんな経験をして、いかなる力を得たかという、生徒のロールモデルとなる情報です。毎年、大学訪問などでお世話になる同志社大学や関西大学には、本校の卒業生の成長プロセスを確認してみたいですね。

もう一つは、双方向の連携強化。高校生と大学生が互いの学校を行き来する交流は、生徒に大学での学びを具体的にイメージさせる効果があります。毎年外国人留学生を本校に派遣してもらっていた関西外国語大学に生徒を派遣する計画をコロナ禍で前年度は断念しましたが、今後も双方向の交流の実現を探りたいと考えています。

中国・四国		
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県		
順位	教育機関	スコア
18	広島大学	80.2
45	岡山大学	72.5
58	高知工科大学	70.0
=63	山口大学	68.9
85	鳥取大学	65.0
=119	愛媛大学	59.1
=119	島根大学	59.1
=143	ノートルダム清心女子大学	55.7
151-200	広島修道大学	47.7-55.1
151-200	広島工業大学	47.7-55.1
151-200	香川大学	47.7-55.1
151-200	高知大学	47.7-55.1
151-200	県立広島大学	47.7-55.1
151-200	下関市立大学	47.7-55.1
151-200	徳島大学	47.7-55.1
151-200	山口県立大学	47.7-55.1

卒業生の成長から教育力が推し量れる

岡山県立岡山城東高校

生徒数…1学年約320人
合格者数…国公立大学248人、
私立大学675人（2020年度）
進路指導課長 横山生久子先生

高校で培うべき力を共に考え連携したい

エリアトップの広島大学は情報科学部の設置にみられるような先進的な教育や、世界に開かれた教育、伝統を大切にする教育を実践しており、それが高い評価につながっていると思います。岡山大学は、伝統ある医学部を始め、パランスのとれた総合大学として魅力的です。引き続き、岡山県との教育活動への支援を期待しています。

高知工科大学は、卒業生から設備や就職支援が充実していると聞きました。ノートルダム清心女子大学は教育実習に来る卒業生の様子から、授業等を通して礼儀や学びの姿勢を身に付けたことがわかります。

大学からの情報提供は、直接会って話を聞くと特色をより深く理解できます。さらに、大学のアドミッション・ポリシー（AP）と各学部のAPとの関わりを明確に示していただくと、学部の特徴もよくわかると思います。

これからの教育では、変動する時代に流されない人間力の育成が大事だと考えています。そのため、高校、大学それぞれの段階で学ぶべきことや、培うべき力について共に考え、連携して教育の充実を図りたいと願っています。

九州・沖縄		
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県		
順位	教育機関	スコア
3	立命館アジア太平洋大学	86.4
14	九州大学	81.8
37	九州工業大学	74.9
43	福岡女子大学	73.2
49	西南学院大学	71.6
=51	北九州市立大学	70.8
=54	熊本大学	70.4
69	長崎大学	68.2
=81	福岡工業大学	65.5
83	佐賀大学	65.2
=94	九州産業大学	62.4
=94	名桜大学	62.4
=101	福岡大学	61.8
=101	宮崎国際大学	61.8
111	崇城大学	60.6
116	鹿児島大学	59.7
=126	中村学園大学	57.7
148	琉球大学	55.4
151-200	久留米大学	47.7-55.1
151-200	長崎県立大学	47.7-55.1
151-200	大分大学	47.7-55.1
151-200	熊本県立大学	47.7-55.1

人間性を育む丁寧な教育に注目

熊本県立熊本西高校

生徒数…1学年約360人
合格者数…国公立大学28人、
私立大学198人（2020年度）
進路指導主事 森山幹俊先生

教育に真摯な大学は高大連携にも積極的

偏差値の高い大学は理解力のある学生が多いので教員も懸命に指導する——このサイクルにより教育充実度のスコアも高いのだと思います。

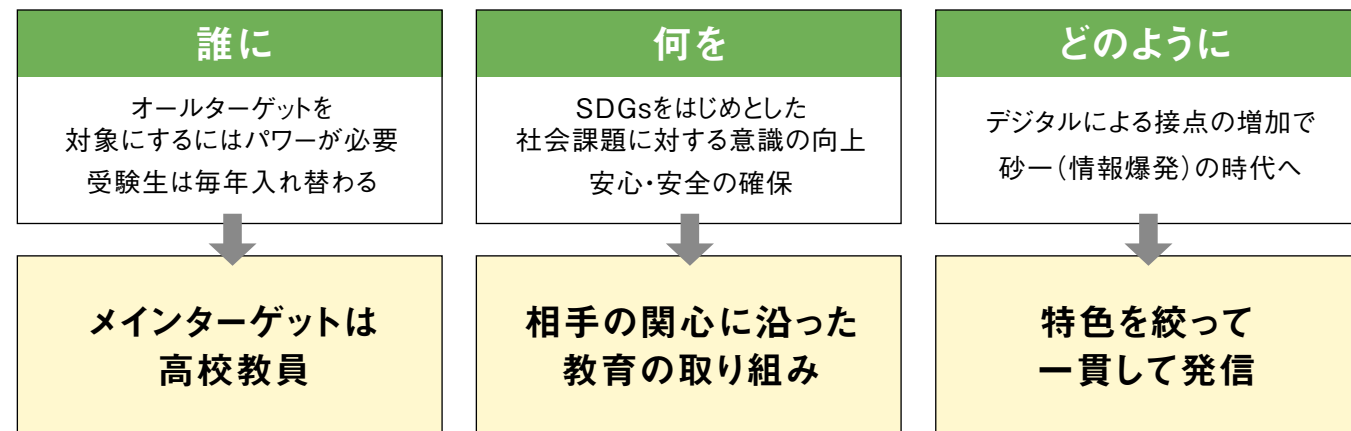
それ以外では「丁寧な教育」を行っている大学が目を見えます。私が考える丁寧な教育とは、学生と教職員の人間的な付き合いの中で、時間をかけながら努力する習

慣と人間性を辛抱強く育てる教育です。そうした姿勢は、大人に成長した卒業生の様子や、広報担当者の真摯な対応に接するとわかります。例えば宮崎国際大学や崇城大学からは、それがうかがえます。

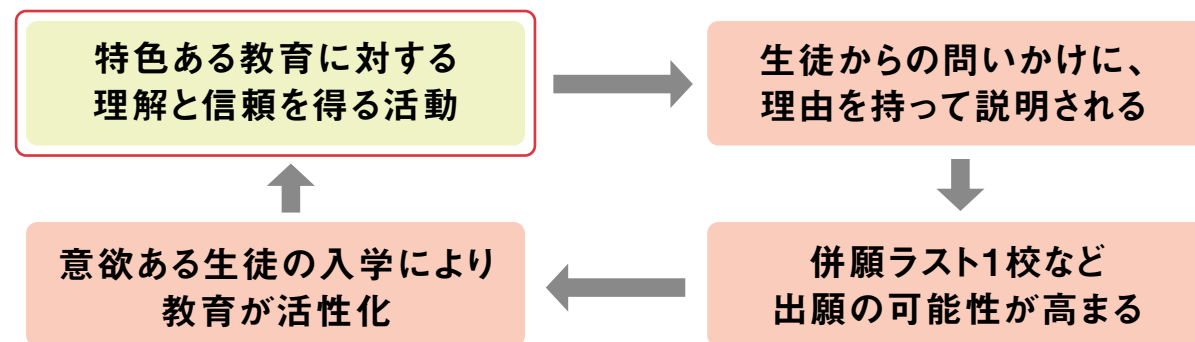
そのほか九州工業大学、佐賀大学、九州産業大学など新しいものを積極的に取り入れ、改革に熱心な大学からは、教育に対する教職員の熱意が伝わってきます。

複雑化する社会に対応できる人材を育てるには、中高大が連携し、多様な学習機会を用意する必要があります。双方が身を乗り出し、労をいとわず取り組まなければ真の連携とは言えません。丁寧に、熱心に教育に取り組む大学とは、知育、徳育によって生徒・学生の人間的成长を促す、本質的な高大連携が期待できます。

【図表3】教育力広報の3つのポイント



【図表4】高校教員に対するブランド構築の好循環



きレベルの話であり、広報部門で完結するものではないでしょう。

3つ目は、ロゴを変えたり、イメージカラーを統一したりといった、見た目を変える「着飾ること」がブランディングであるという誤解です。いくらロゴのデザインが優れていても、それでその大学に行こうと思う人はいません。大切なのは、教育の本身。そして真に狙うべきは見た目の変化ではなく、「意欲的な入学者が増える」「地域や企業から信頼される」といった成果です。

ターゲットと内容を絞り一貫性のある発信を

受験生獲得競争の激しさが増す中、ブランディングを成果につなげるポイントは、「誰に」「何を」「どのように」伝えるかです【図表3】。

伝える相手として優先したいのが、高校教員です。もちろん受験生をターゲットに加えてもよいのですが、毎年の入れ替わりとともに広報効果もリセットされてしまうため効率的ではありません。その点、高校教員は数年は入れ替わらず、また近年は受験生の進路決定への影響力が増していることから、高い「投資効果」が見込めます。次に伝える内容。これは、教育

以外にあり得ません。ただし一方的に教育の特色をアピールするのではなく、高校側の関心に沿う内容である必要があります。相手によってニーズは異なりますが、例えば、昨今の高校生が強い関心を持つ「社会課題の解決」にどう貢献できるのか、といった内容が考えられます。コロナ禍の中でいかにして安全性を確保しているのかの説明も欠かせません。

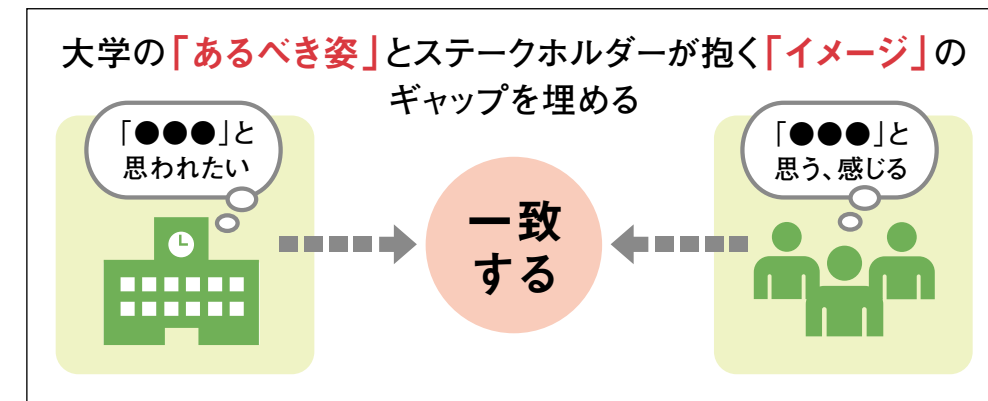
最後に、伝え方。大切なのは「特色」と「一貫性」です。情報の量と接点が増えた昨今は、発信した情報が瞬時に世界中の砂のうちの一粒になる「砂一」の時代。何もかも伝えようとするのではなく、自学にしかない特色を絞り込む。場所や時期によらず、一貫してその特色を伝える。そんな努力が求められます。

狙うべき理想は、「生徒から志望大について相談を受けたとき、高校教員が貴学の教育についての具体的な情報を提供する」状況です。あらかじめ教育の特色が高校教員に理解されていれば、教員が貴学を勧める可能性が高まり、特色を理解した意欲の高い生徒が入学する、という好循環が見込めます【図表4】。逆に提供するに足る情報がなければ、偏差値や知名度位しか、判断材料がありません。

【図表1】大学ブランディングのよくある誤解

うちはブランディングをしていないから、ブランドがないんですよ。	→	ブランドは相手（ステークホルダー）の中で形成されるもの。自分たちの中にあるものではない。
ブランディングって、ロゴマークやビジュアルを変えることですよ。	→	「着飾る」ブランディングではなく、「成果につながる」ブランディングが重要。
ブランディングは広報の仕事だから、彼らに任せている。	→	めざす姿がなければブランディングはできない。執行部を含めた、大学全体の戦略が必要。
前に一度やったけど、次の年の志願者数は全然増えなかったからなあ。	→	通常、数年は継続しなければ効果は出ない。また効果は必ずしも志願者数だけではないのでは。
何より大事なのは、大学名・学部名を知ってもらおうことですよ。	→	名称を知られるだけでは高校教員は生徒に推奨しない。教育の特色を理解してもらうことが大切。

【図表2】大学のブランディングとは？



大学ブランディングを誤解していませんか？

少子化や受験生の安全志向が続く中、志願者数の増加を期して「教育力でブランドをつくりたい」という大学は多く見られますが、成功例は多くないのが現実です。

背景には、ブランドに対する誤解があります【図表1】。ここでは大学のブランドに関する、代表的な3つの誤解を挙げましょう。

1つ目は、「ブランドとは何か？」についての誤解。ブランドとは、高校生や高校教員、保護者らの頭の中にあるその大学のイメージです。つまりブランディングへの取り組みの有無にかかわらず、ステークホルダーの頭の中で勝手に

形成されるものなのです。例えば「何をやっているかわからない大学」というイメージも、本意でしようが、ブランドの一つ。小さな大学にも、知名度がない大学にも、深くかわかる話です。

2つ目の誤解は、ブランディングは「広報部門の仕事」という認識です。ブランディングとは、大学側が描く「あるべき姿」と、ステークホルダーが抱く「イメージ」のブランドを一致させる取り組みです【図表2】。いくらイメージ調査を行っても、めざす姿がなければことは進みません。そのため、ブランディングにまず必要なのは、自学の理想像を具体化することです。これは執行部が中期計画等を通じて示し、全学で推進すべ

OPINION

ニューノーマル時代の教育力広報 成果を出すブランディング 3つのポイント



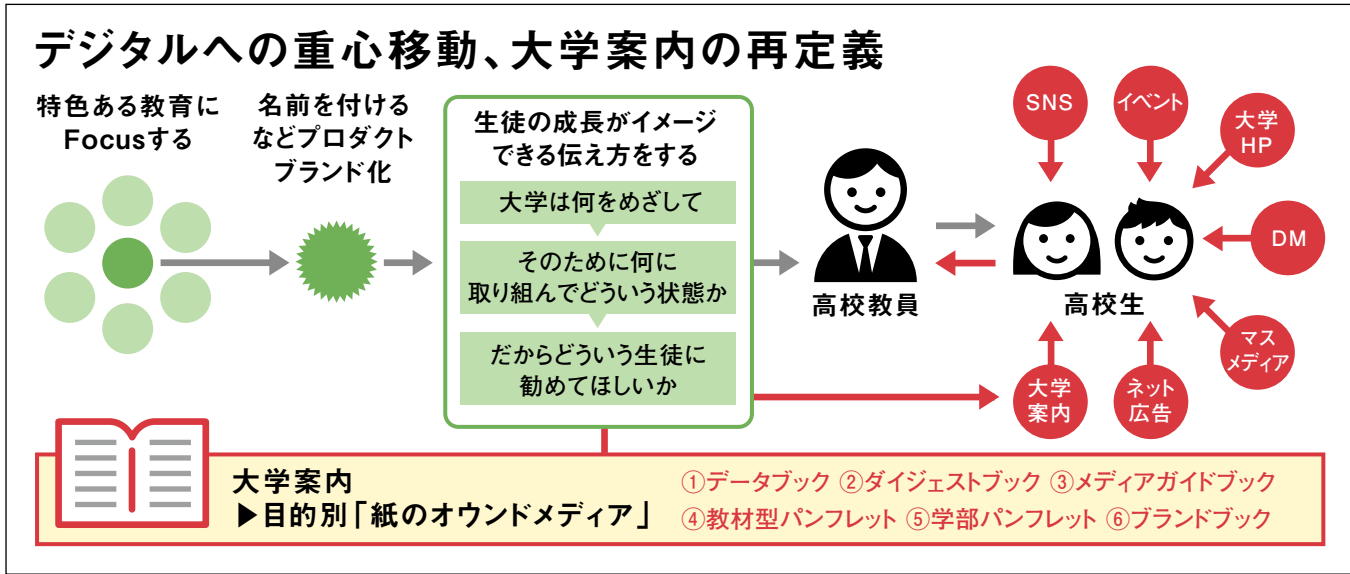
（株）進研アド エリアブランニング部
チーフプランナー

上野和幸

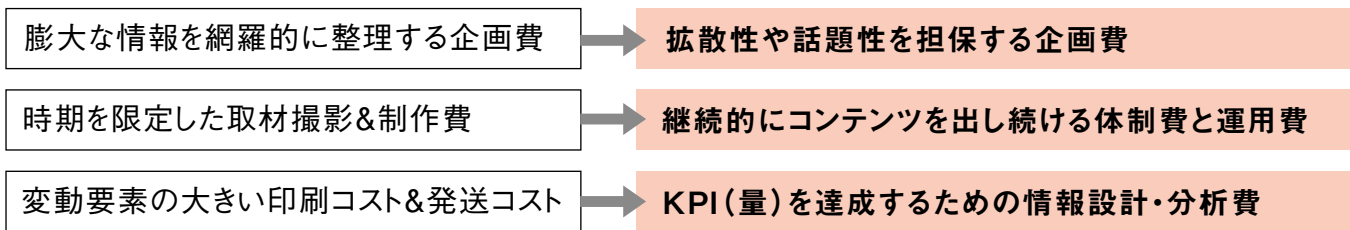
うえのかずゆき ● 広告制作会社にて、多様な業界・企業の広告制作を経験。進研アド入社後はプランナーとして、大学やブランドの課題に対し、「コミュニケーションデザイン」の観点から整理、再構築を行い、ステークホルダーに大学の魅力を届けている。

取材・文／児山雄介

【図表7】高校生を対象とした学生募集ブランディングの基本の考え方



【図表8】これからの広報予算の使い方～大学案内を例として



紙の大学案内も、今や高校生の情報環境の中では異質です。そこにかかる予算、時間を再配分してデジタルメディアに軸を移すとともに、各メディアで何を達成するためにどんな情報を発信するのか、広報の全体設計に基づいて各メディアの役割を再定義し直すべき時が来ています【図表7、8】。Webサイトについても然り、です。「特設サイト」が乱立気味の昨今、併せて見直してみましよう。そうした全体の情報戦略の中に大学案内を位置付けるなら、徹底

デジタル世代に向けて
メディアの役割を見直す

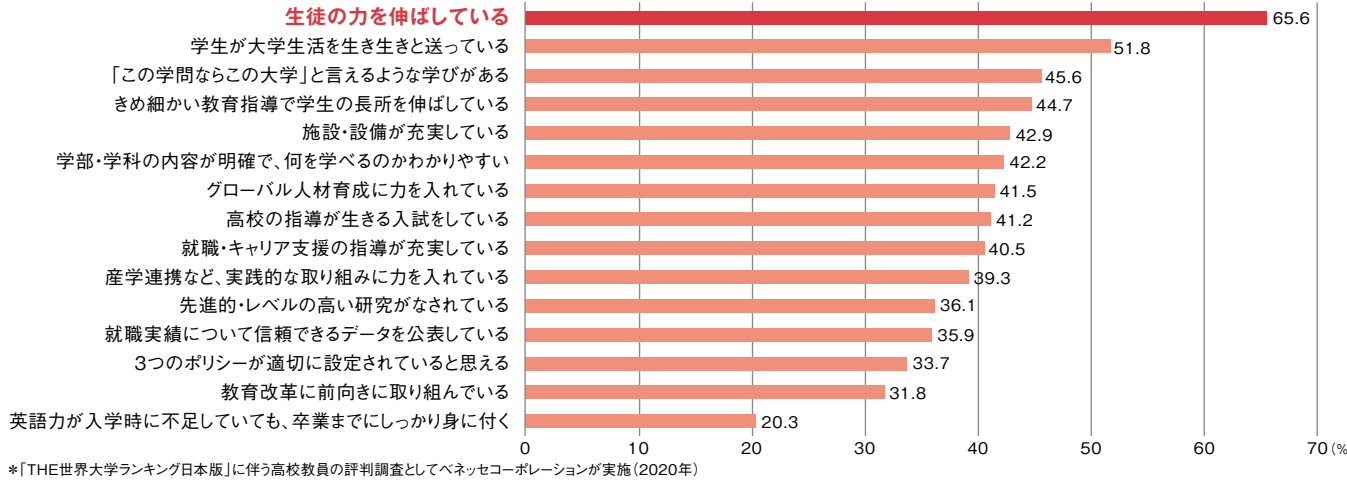
高校生は情報の大半をスマホなどのデジタルデバイスから得ており、中でもSNSが多くの比重を占めています。かといって、SNSで従来の大学案内と同様の情報を発信しても、高校生には恐らく到達しません。高校生の閲覧習慣に「邪魔」する気持ちで、彼らに役立つ情報を継続的に送り、少しずつファンを増やす地道な努力が求められます。

別の視点から見ると、ブランディングとは、学生や高校生にとっていい話題をつくること、彼らにいい経験をさせることだと言えます。そのためには実態として、そうした教育が学生や高校生に提供されていなければなりません。近年、魅力的なブランドを築き募集力のある大学はもれなく、この「教育と広報の一致」が図られています。執行部により全学の意思統一がなされているからこそ、それが実現できるのです。

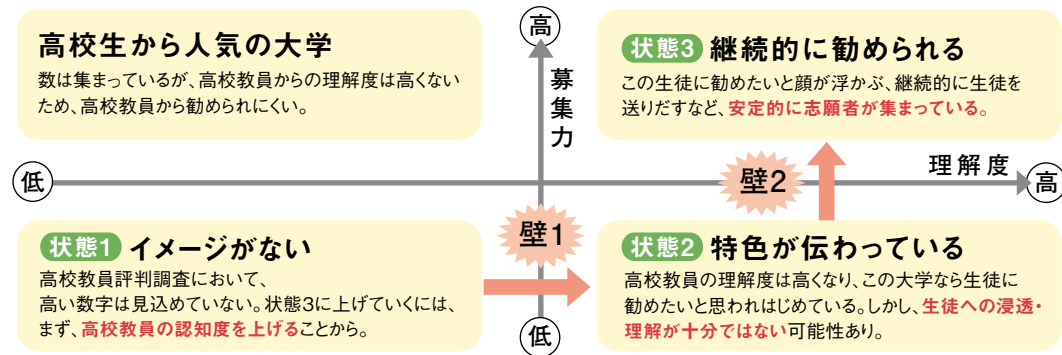
貴学の評価を高め、質を伴う学生募集を実現するのは、着飾るブランディングではなく、目標と戦略を持ち、教育と連動した、継続的なブランディングです。

相手の懐に飛び込むつもりで発信を
高校生に教育力を伝える方法

【図表5】高校教員の推奨度を高めるのは、「学生の成長」に関する情報
～高校教員が大学を「生徒に勧めたい」と思った理由



【図表6】高校教員とのコミュニケーションにおける2つの壁



「理解」と「推奨」の壁を
打ち破るための工夫

高校訪問をした際に、門前払い

高校訪問をした際に、門前払い

「壁2」は、志望校候補として勧められない「推奨の壁」です。この壁に対して講じたいのは、「信頼される伝え方」。データなど数値的な根拠を挙げる、課題も開示する、課題解決の過程や将来像を示す、といった具体的、かつ真摯な姿勢が、高校教員の共感を呼び、生徒への推奨につながるはずです。オンライン高校訪問が増えた現在は、貴学に入学したその高校の卒業生を同席させるのも一つの方法です。

「学生を伸ばす力」は
高校生に伝わっているか

【図表5】の調査では、高校教員の65・6%が、「生徒の力を伸ばしている」大学を勧めたいと答えています。教育の特徴だけではなく、学生を成長させていることが実感できるコミュニケーションが求められます。しかし、現状では大学から高校に対して、入学後の成長に関する情報は十分に提供されていない状況にあるようです(P.18参照)。教育力を示すために日本大学ランキングの結果を使う大学は増えてきましたが、順位だけではなく、その理由も示すことで、高校教員の理解度は高まります。学生や高校教員の声が反映された「教育充実度」のスコア推移を教育改革の進展のエビデンスとして活用してみてもいいでしょう。

を受けたり、話をしても関心が薄そうだったり…。高校教員とのコミュニケーションがうまくいかないときは、【図表6】の2つの壁に着目してください。「壁1」は、特色を理解してもらえない「理解の壁」。これを越えるために必要なのは、「相手の関心に応える情報を伝える」ことです。「こんなことにお困りではないですか」という姿勢で、高校教育に役立つ情報の提供を心がけてみてください。今なら探究学習やSDGs、コロナ禍でやりにくくなった進路研究のニーズが高いはずですよ。

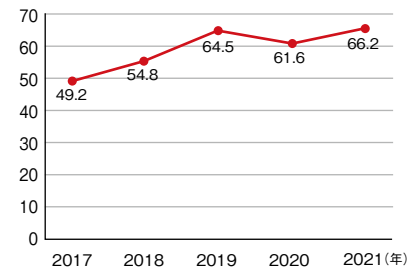
高校教員の推奨を得る
高校生に教育力を伝える方法

●THE世界大学ランキング日本版2021／総合151-200位、私立大学総合=67位、北関東・甲信越エリア総合=11位

THE世界大学ランキング日本版2021の結果

分 野	スコア	順 位	参考データ
総合	34.3-40.2	151-200位	外国人学生比率／5.4%
教育リソース	－	－	日本人学生の留学比率／11.5%
教育充実度	66.2	=76位	外国語で行われている講座の比率／5.3%
教育成果	－	－	
国際性	76.6	31位	学生の男女比／64：36

教育充実度の推移



教育力とその広報

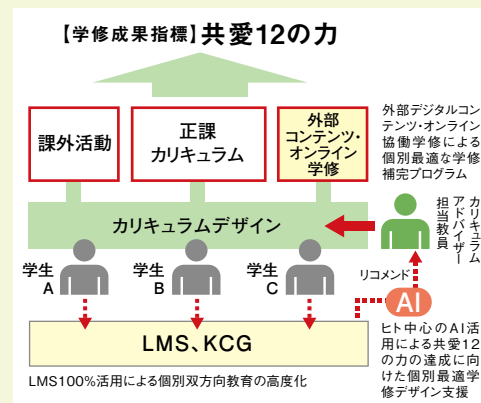
教育の特色	▶ 国際感覚を持ち、グローバル化する群馬をけん引するグローバル人材を育成 ▶ eポートフォリオ「KYOAI Career Gate」による学修成果の可視化 ▶ 地元企業、自治体、学校等との課題解決型学習を中心とする地学一体の学び
成果	▶ 独自指標「共愛12の力」の学年別平均スコアが1年次→4年次で大きく伸長 ▶ 汎用的能力を測定する各種外部アセスメントで、上位学年ほど高スコアの傾向 ▶ 1科目あたりの授業外学修時間が0.88(2014年度前期)→1.51(2019年度後期)時間に
広報	以下の活動は広報が目的ではないが、結果として教育内容の周知につながっている ▶ 県内高校の探究学習等のサポート。学生が教えることにより、生徒にとってのロールモデルになる。プログラムの内容は、大学と高校が協働で作成 ▶ 高校の求めに応じて、アクティブ・ラーニング、カリキュラム・マネジメントなど教育改革のノウハウを共有する研修を開催 ▶ 地域と連携した教育活動が、地元メディアを通じて日々ニュースとして扱われる

注目!

AIと外部コンテンツを活用し、 地方小規模大学DXモデルの構築へ

文部科学省が公募した「Plus-DX」*に選定された「KYOAI Career Gate × AIによる個別最適学修の実現」計画。同大学では2010年より教育のデジタル化を進めユビキタスキャンパスの構築、LMSやeポートフォリオを活用した学びを実践してきた。本計画では、個々の学生の蓄積データを分析したAIによるリコメンドを基に、学生自身がアドバイザーと相談しながら、個別最適学修をデザインするしくみの構築に取り組む。この実現に向けては、個々の学生に合った学修補完プログラムの用意も課題だが、学内リソースがない新しい分野については、外部のeラーニング講座を利用する。「地方小規模大が、アップデートが激しい領域の学びを自前で用意するのは困難だ。外部コンテンツの活用を通じて地方小規模大のDX化モデルとしたい」(大森学長)。

個別最適学修を提供するDXモデル



*デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

学生中心の教育と連携で信頼獲得

共愛学園前橋国際大学

地域の未来に貢献する人材の育成を実直に継続し、地元の信頼を得てきた同大学。その姿勢・教育内容が県内に浸透した今、次の一手は。



学長 **大森昭生**

おもしろあきお ●東北学院大学大学院文学研究科
博士前期課程修了。1996年共愛学園に着任。
2007年から教授。2016年に現職。中央教育審議会
大学分科会臨時委員、県青少年健全育成審議会会
長、県都まえばし創生本部有識者会議座長ほか、国、
県、市の公的委員を多数務める。

「ここに入る理由」を
提供し続ける教育改革

開学2年目にして定員を割り、学生満足度はたった3割。この事実を突きつけられて以降、本学は一貫して「グローバル人材の育成」を胸に教育改革を行ってきた。

を胸に教育已事を行ってきま

た。20年超の継続の結果、このビジョンは学内外に広く浸透しています。入試の面接で「浜川市の職員になって地域の課題を解決したい」と明確な目標を口にする受験生然り、大学のグローバル教育を問う調査に「うちはグローバルではなくグローバルだから答えずらい」ともらす学生然り。イタリヤ社会論、イスラム文化学といった一見、群馬と縁遠い専門分野の教員が、ビジョンにのっとって地元企業の企業や自治体と連携した実習をゼミで行い、それらの活動が地域メディアで頻繁に報道されていま

マーケット縮小への対応と
地域へのこだわり

化の進展は、「その大学はなぜその土地にあるのか」という問いを全大学に突きつけました。今後も、本学でしかできない学び、言い換えれば「この大学に入る理由」を高校生に提供し続ける必要があります、と心を新たにしています。

正直、特別な広報活動をしているわけではありません。それでもT H E世界大学ランキング日本版の高校教員調査で学生を伸ばす大

学として多く名前を挙げてもらえたのは、積極的な高大連携の結果かと思っています。というのも高校の、半歩先を進む大学の教育改革は、高校の教育改革にも役立つからです。ここでも、中心は学生。本学の学修成果そのものである学生が高校の探究活動を支援することにより、結果的に本学の教育が高校に理解されるようになりました。

これらは学生募集が目的の活動ではないので、志願者がいない高校でも行います。群馬県教育界全体から信頼を得れば、いずれしかるべき生徒と出会ったときに本学を勧めてくれるかもしれません。募集の好調はそうした活動を積み重ねた成果だと捉えています。

重ねた成果だと捉えています。

群馬県に集中した現在の募集活動には課題もあります。県内の18歳人口が減る中で地元志向が高まれば他県からの国公立志願者が減少し、県内受験生が国公立に流れやすくなります。「地域」が指すエリアを北関東、信越まで広げるべきか、議論を始めたところです。地域課題は場所によって異なります。募集エリアを広げるならば、各地域の企業や自治体と連携し、エリアに応じた授業やキャリアパスを用意すべきかもしれません。広報活動の前提に教育があるという姿勢にはこだわり続けます。

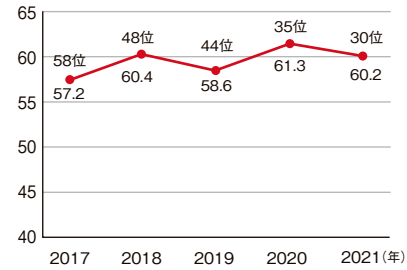


学生数／約9000人
学部／工、システム理工、デザイン工、建築
大学院／理工学
●THE世界大学ランキング2021／1001+位、同アジア版2020／401+位、同日本版2021／＝30位、
同インパクトランキング2021／801-1000位

THE世界大学ランキング日本版2021の結果

分野	スコア	順位	参考データ
総合	60.2	＝30位	外国人学生比率／6.0%
教育リソース	42.6	99位	日本人学生の留学比率／16.8%
教育充実度	76.1	34位	外国語で行われている講座の比率／8.0%
教育成果	48.1	30位	学生の男女比／18：82
国際性	76.1	35位	

総合ランキングの推移



教育力とその広報

教育の特色	▶「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材の育成」が教育目標 ▶海外学生と協働する「グローバルPBL」等を通じて、学生の「実践力」の向上、グローバル教育の推進を図る
成果	▶「THE世界大学ランキング日本版2021」では、「国際性」と「教育充実度」のスコアを前年から伸ばし、総合で私立大学6位タイにランクイン ▶「有名企業400社」への就職率が向上など、産業界の評価を確立
広報	高校生 ▶高校生が日常的に使用しているメディア（SNS、YouTubeなど）での広報を戦略的に強化。特に動画での情報発信に力を入れ、ライブなども取り入れながら大学への興味と理解を深めてもらう広報を展開 高校教員 ▶高校教員向けの入試サイトで、その高校の出身者の大学入学後の成績や活動記録を開示。高校の卒業生も高校訪問に同行するなど、大学での成長を見てもらう

注目！

学修環境や授業の改善、広報活動に学生の力を積極活用

芝浦工業大学では、学生調査が注目される10年以上前から、学生自治会が自主的にアンケートを実施して、大学に対して授業や環境の改善を提言する活動が続けられている。大学側も、学長・学部長以下の教職員が直接学生から話を聞く機会を設けて、学生からの意見を吸い上げ、改善に努めているという。また、授業改善のために「SCOT」を実施しているのも特徴だ。これは、一定のトレーニングを受けた学生が、教員の希望に応じて授業を観察、学生の視点で改善点をレポートするもの。教員自身では気づかない改善点を知ることができる。

学生は広報活動にも参画する。「芝浦ウラちゃんねる」は、在学生による大学PR動画プロジェクト。企画・撮影・編集を学生が手掛け、リアルな大学生活を発信しているため、SNS世代の高校生に好評だという。



▲学生が主体で運営するYouTubeチャンネル「芝浦ウラちゃんねる」。再生回数が6000回を超える人気動画も。

CASE STUDY

教職学協働で進める教育と広報

芝浦工業大学

理工系私立大学の中で、突出して教育改革に積極的に取り組む芝浦工業大学。本年4月に就任した新学長に、その成果と今後の施策について聞く。



学長 山田 純

やまだじゅん ●東京工業大学大学院理工学研究科博士課程中退。1988年東京工業大学工学部生産機械工学科助手、1995年山梨大学工学部機械工学科助教授。2001年ケンタッキー大学客員准教授。2005年4月芝浦工業大学工学部機械工学科教授。学長補佐、工学部長を歴任し、2021年4月より現職。博士（工学）。

学生と共に実現させる学修者本位の教育

理工系でありながらSGU事業に挑戦し、英語教育の拡充と、海外の学生と共に取り組む100のグローバルPBLを提供。^{*2} AP事業ではアクティブ・ラーニングを推進し、今では8割の授業で導入されています。教育のDX化についても、本事業でLMSを整備し、2019年よりオンライン授業に取り組んでいたことから、コロナ禍での遠隔授業への移行はスムーズにできました。

これらを発展させた、「学生の学びの心に火をともし、ラーニング・アナリティクスによる教育改革」計画が、文科省の「Plus-DX事業」にも採択されました。これは、学生のやる気になるメカニズムの解明が目的です。大学でどんな学修経験があれば意欲的に学ぶよう

になるのか、データを分析し、教育改善に結びつけます。卒業生のデータも加われば、めざすキャリアのために在学中何をすべきかという指針になり、ロールモデルづくりに役立つでしょう。

数々の改革の背景には、「実践力のあるエンジニアを育成し、アジア工科系大学トップ10をめざす」というミッションがあります。本学では歴代学長のリーダーシップのもと、文部科学省の施策について積極的に情報収集・分析し、ミッションに照らし合わせて対応方針を決めてきました。それを受けて教職員がアイデアを出し、補助金事業も有効に活用しながら教育改革に取り組む、というサイクルができていっています。

教職協働で進める改革に学生が加わる点も特徴です。訓練を受けた学生が学生の視点で教員や授業を観察し改善を促すSCOT活動に加え、学生自治会が行う学生調査の結果を教育改善に生かしています。2019年からは、授業アンケートを「学生がどれだけ学び、何ができるようになったか」という内容に改めました。このように本学では教職員に学生を加えた「教職学協働」の体制で、「学修者本位の教育」に取り組んでいるのです。

募集力強化のポイントは高校教員訴求と学生の協力

改革の成果として日本ランキングの総合順位が年々上がり、励みになっています。こういった偏差値とは異なる評価軸で大学を見てもらえるようになれば、本学のブランドも向上することでしょう。

学生募集について言えば、2つ課題があります。一つは、圧倒的に少ない女子学生の獲得です。企業で女性エンジニアのニーズが拡大している今、女子枠の入試を設けたり、私自ら、オープンキャンパスで女子向けブースの設置を提案したりと、試行錯誤中です。

もう一つは、高校教員向けの広報です。本学の教育を、重要なステークホルダーである高校教員の心に響く形で伝えたい。高校訪問や、専用サイトの開設などの取り組みの結果、評判調査も向上し始め、手応えを感じています。

こういった募集広報も、学生の力が頼りです。SNSや動画といった新しいメディアは、学生のほうが上手です。彼らのつくった動画は1か月で1千回以上再生されるものも増えてきました。教育から広報まで、教職学でアイデアを出し合い取り組むこの環境こそが、本学の強みと言えるでしょう。

*1 スーパーグローバル大学創成支援事業 *2 大学教育再生加速プログラム *3 デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン *4 Students Consulting on Teaching 取材・文／本間学 撮影／荒川潤

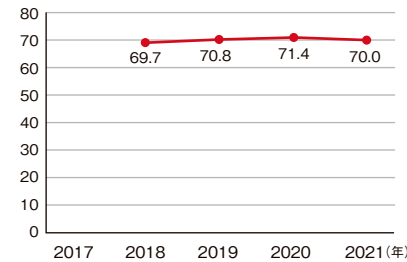


学生数／約2600人
学群／システム工、環境理工、情報、経済・マネジメント
大学院／工学
●THE世界大学ランキング2021／1001+位、同日本版2021／=91位、中国・四国エリア総合8位

THE世界大学ランキング日本版2021の結果

分野	スコア	順位	参考データ
総合	47.4	=91位	外国人学生比率／1.8%
教育リソース	42.3	100位	日本人学生の留学比率／2.0%
教育充実度	70.0	58位	外国語で行われている講座の比率／2.6%
教育成果	35.2	=86位	学生の男女比／22：78
国際性	29.4-39.9	151-200位	

教育充実度の推移



教育力とその広報

教育の特色	▶「人が育つ大学」を実現するため、学群・専攻制、全科目選択制（必修科目なし）、クォータ制を導入。企業経験豊かな専任の教育講師制度を採用 ▶「人が交わる設計」を念頭においた環境の整備
成果	▶THE世界大学ランキング日本版2021「教育充実度」分野で中国・四国3位（全国の公立大学9位）など、各種調査における評判調査で教育力が評価される ▶国内外の学会で研究発表する学生が毎年延べ200人以上
広報	高校生 ▶動画配信を通じて、大学の学びを発信 ▶オンラインオープンキャンパス等を実施し、遠方の高校生との接点を増やす 高校教員 ▶高校訪問、教員向け説明会の積極的な実施 ▶探究学習、出前授業などを通じた高校との連携強化 ▶各種ランキング等の活用による教育力広報

注目！

成績優秀者の能力をより大きく開花させるオナースプログラム

高知工科大学は、学修意欲の高い学生を総合的に支援するための制度「KUTアドバンスプログラム」を実施している。これは、特待生と成績優秀者を対象とした特別なプログラムで、「経済的支援（学費免除、奨学金給付）*」、「学士・修士課程一貫教育」「国際感覚醸成（海外留学、海外研修支援など）」「就職支援（インターンシップへの参加支援など）」を柱としている。特待生として認定されるには、共通テストで一定以上の成績を修めて合格すればよく、人数制限や所得制限はない。ただし、各学群の成績上位10%程度に入っていないければ、特待生から外されるため、モチベーション維持が不可欠だ。アドバンスプログラムの学生は2年次から研究室に所属できるので、先輩学生に刺激を与え、研究活動の活性化にもつながっているという。

KUTアドバンスプログラムの主な内容

プログラム	主な内容
経済的支援	特待生Sは、入学科・授業料免除＋年間120万円の奨学金給付。特待生Aは、年間60万円の奨学金給付
学士・修士課程一貫教育	学士課程早期卒業後、修士課程までを5年間で修了
国際感覚醸成	海外への留学やインターンシップへの参加支援など
就職支援	推薦入社制度がある優良企業への応募の支援や、インターンシップへの参加支援など

* 経済的支援は特待生として入学した学生のみが対象

CASE STUDY

“人が育つ”教育を全国に発信

高知工科大学（KUT）

日本版ランキングの「教育充実度」分野で、前年に続き中国・四国地区3位にランクされるなど、教育力を高く評価されている。その背景にある教育システムについて聞いた。



学生支援部 入試・広報課 主査 濱田 康太

はまだこうた●2013年に高知工科大学職員として入職。就職支援部門、財務部門、広報部門を経て、2021年より現職。広報業務全般を担当。

学生が自ら選択して最適な学修を実践

1997年に、「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」という高い志を掲げて、本学は開学しました。「人が育つ大学」をモットーに、先進的な教育システムをいち早く取り入れ、学生が自分の希望に合わせて、必要な力を身に付ける個別最適な学修を実践しています。

本学では3年次に自分の専攻を決める、「学群・専攻制」をとっています。理学や工学、経済・マネジメントといった本学の研究領域は、科目を組み合わせることで、多様な学修を実現できます。そこで、低学年時に自身の目的や興味に合わせて自由に学んでから、自分の専攻を決める制度にしているのです。

そのため、あえて必修科目は設

けていません。クォータ制を日本で最初に導入したのも、学期ごとの成績に応じて履修登録を変更できるメリットを考慮してのこと。授業時間を3時間目までに集中させて、それ以降は学生が予習や復習、課外活動などに打ち込めるようにもしています。

これらのしくみで「人が育つ」には、学修に対するモチベーションが欠かせません。本学では研究室を講義室の対面に配置し、かつガラス張りになっているため、学生は1、2年次から日常的に先輩たちが研究に打ち込む姿を目にします。ロールモデルとなる先輩の存在は、学修の目標になっているようです。また、企業で長年活躍した人が、専門の教員とは違った目線で4年間継続して指導や支援に当たる教育講師制度により、目標の実現につながる実践的なアドバイスを受けることもできます。

こうした取り組みは、外部のランキング結果等を分析し、効果測定をしています。そこからは、学生の教育満足度が他大学と比べて高いことがわかっています。

教育力を証明する客観的なデータの活用

広報に関しては、ここ数年、高

校訪問や教員向け説明会に力を入れています。これは、毎年実施する新入生調査で、入学のきっかけは「高校の先生に勧められたため」という回答が多く見られたからです。教育内容などについて他大学と比較し、客観的な意見を聞けることが、高校生にとって説得力があるのだと思います。

前年度はコロナ禍の影響で、高校教員や高校生を対象とした広報は、オンラインやSNSが中心になりました。対面広報とは異なり、相手の反応が直接つかみにくいため、調子が出ない面もありましたが、北海道や東北の高校生と新たな接点が生まれるなど、収穫もありました。そこで、本年度もWebなどを活用した広報は引き続き継続し、さらに今まで情報を届けられていなかった地域にも発信していく予定です。その際、ランキングなどの第三者による外部指標は、本学のことを知らない人にとって信頼性が高く、効果的な広報材料になると考えています。高知県は四国の中でも、18歳人口の減少が急速に進むと考えられます。全国への広報の重要性が今後は増すでしょう。もっと多くの人に本学の魅力を伝えられるように、これからも広報の工夫に努めていきます。

取材・文／本間学